



FUJI SASH

不二サッシ商品取扱説明書

Building Sash Instruction Manual



■ ごあいさつ

このたび不二サッシ商品をご採用いただき誠にありがとうございます。この取扱説明書には、商品を正しくご使用いただくための、注意事項とお願いについて記載されています。

サッシやドアは、太陽の光、明るさ、雨、風、すき間風、埃、虫、騒音などの自然現象や人の視線などの外部環境から遮断したり、取り入れたりする機能を果たしています。

サッシを末永くご利用いただくために、本取扱説明書をよくお読みになり、正しくサッシをご使用くださいますようお願いいたします。

商品のご使用前に必ず本書をお読みください。また、お読みになった後も、いつでもご利用いただけるように、大切に保管してください。

■ 安全にご使用いただくために

サッシを安全にご使用いただくために、下記のような注記表示を本書の中でしています。

商品お取り扱い上の重要な内容を記載しておりますので、本書をよくお読みになり、正しくご使用いただきますようお願いいたします。

●この取扱説明書では、注意事項やお願いの内容によって下記のような記号を使用しています。

 注意	誤った取扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「必ずおこなっていただくこと」を示しています。

INDEX

ごあいさつ

INDEX

アルミニウム建材を快適にご使用いただくために
商品保証（保証期間及び免責事項）

引違い窓・戸	P.7
引違い窓・戸	
四枚建て引違い	
片引き窓・戸	
一般タイプ・引き寄せ防音タイプ①	P.9
外動・内動片引き窓	
中央引き分け窓	
両袖可動	
中央可動	
引き寄せ防音タイプ②（AE系）	P.12
片引き・両袖可動	
中央引き分け	
AE-120B FIX部のメンテナンス	
引違い・片引きオプション部品	P.13
スイング窓	P.19
開き窓	
たてすべり出し窓	
たて軸回転窓	
内倒し窓	
すべり出し窓	
突出し窓	
開きドア	P.27
全開口サッシ	P.30
その他サッシ	P.33
引戸	
出窓	
ガラスルーバー	
網戸	P.35
可動網戸	
ブリーツ網戸	
開き網戸	
固定網戸各種	
エクステリア	P.47
手すり	
面格子	
門扉	
面格子付きサッシ	
玄関ドア	P.53
ドアクローザ	P.56

■ アルミサッシを快適にご使用いただくために

アルミサッシは、永年にわたりご使用いただけますように、耐食性、安全性などに配慮し設計・製作しておりますが、外部環境、室内環境などにより腐食や開閉不良などの思わぬ不具合が発生する場合があります。さらにこの不具合を放置されますと、美観を損ねる、不慮の事故につながるなどの支障をきたすこともあります。お掃除のときなど、日常的に保守点検をおこなってください。ゆるみ、がたつきなどがある場合は早急にお取り扱いの建築会社様、工務店様または管理会社様にご相談ください。

清掃お手入れについて

アルミサッシは耐食性に優れておりますが、長期間にわたって表面に付着した塵や埃、塩分などを放置すると点食を生じ美観を損ねることがあります。定期的な点検（保守点検）や清掃、お手入れをおすすめします。

清掃および点検の頻度は、環境や汚れかたによっても異なりますので右表を参考にして下さい。

立地条件	清掃回数	定期点検（2年目以降）
臨海工業地帯	年に2～3回	年に1回
海岸・工業地帯	年に2回	年に1回
市街地	年に1～2回	年に1回
田園地帯	年に0.5～1回	年に1回

※特にステンレス網戸のお手入れを怠るとアルミニウムが腐食しやすくなりますので、年に3～4回清掃（中性洗剤＋水洗い）をおこなってください。（海岸近接地域は、月に1回程度）

◆清掃時の注意

- アルミ製品のお手入れには「台所用中性洗剤」もしくは「使用用途に“サッシ”と明記された住宅・家具用中性洗剤」をご使用ください。※中性洗剤でも浴室用、トイレ用などは不向きです。
- 普通の汚れは、水で濡らして雑巾で拭いてください。汚れのひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落として十分に水洗いをおこない、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 清掃用具としてワイヤーブラシ、スチールウール、金ペラは使用しないでください。また清掃時に小石・砂・金属片などが付着するとアルミニウム建材を傷つけることになります。
- 有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗剤やアルカリ性洗剤は、表面を侵し腐食のもととなりますので、使用しないでください。
- サッシを清掃する時は、障子や網戸の端部・切り欠きには十分注意しておこなってください。手を挟んだり指を切るなどの思わぬ事故やけがにつながります。
- 高圧洗浄機やホースなどの散水ノズルによるジェット水流により窓や網戸の汚れを洗い流す場合、水が室内に侵入するおそれがありますので使用しないでください。

換気装置使用時の注意

- 換気扇や24時間換気装置を使用した場合、室内から排出した空気量と同じ量の空気を外部から採り入れなければなりません。そのため各住戸には換気口が設置されています。換気装置使用時にこの換気口を開放していなかったり、換気口の大きさが適切でなかった場合や換気扇と24時間換気装置を同時に使用した場合、サッシの非常に小さい隙間（通常どのようなサッシでも微量の空気の流れがあります。）から高速で空気が流入し笛の鳴るような音（笛鳴り現象）が発生することがあります。その場合は換気口を開放するか、窓を少し開けていただくと発音は防げますので、換気装置使用時には適切な外気の取り入れ口を確保していただけるようにお願いします。

強風時の障子の開閉について

- 開き窓や縦軸回転窓などの外に開く窓は強風時、風にあおられると障子の脱落やガラス破損の原因となることがあります。強風時は窓を閉めて、必ずハンドルをロックしてください。
- 引違い窓や片引き窓などの横にスライドする窓は、強風時に障子が枠に強く押しつけられるため開閉操作が重くなることがあります。強風時の開閉は避けていただくようにおすすめいたします。

サッシなどからの音鳴り現象について

サッシに使用されているアルミニウム材は温度変化により伸縮する特性があります。サッシを構成するアルミニウム材が太陽の日射熱により伸縮するとアルミニウム材同士で摩擦などが発生し、パシッ、ピキッ、コーンなどの異音が発生することがあります。また、アルミサッシに取り合う内装材（木額縁・床材など）との熱伸縮の違いにより音が発生することもあります。この現象は、必ず発生するものではなく、サッシの性能に影響するものではありません。

■結露とは

暖かい空気中に含まれている水蒸気が、冷たいものの表面に触れることによって水滴が生じる現象が結露です。例えば、夏場ガラスのコップに冷たい水を入れると、温度の高い空気中に含まれる水蒸気が、冷たい水で冷やされたコップのガラス面で水滴が発生することなどです。

■窓ガラスやサッシのアルミ部分に水滴がついているようなときは、こまめに拭きとってください。

■結露を抑えるために

1. 浴室や厨房の使用時・使用後はしばらくの間換気扇を回してください。
2. 居室でも窓が曇りだしたら、換気をして空気の入れ替えをしてください。
3. 室内に洗濯物を干したりするのは避けてください。
4. 各部屋の温度差をできるだけ少なくしてください。
5. 室内に植栽を多数持ち込まないでください。

などを心がけてください。結露の発生を抑えることができます。

台風の災害を防ぐために

■台風や暴風雨はサッシの性能(耐風圧性、耐水密性など)を越える風雨を伴うことがありますので、台風や暴風雨の被害を防ぐため、暴風雨圏に入る前に事前の対策を図ることが必要です。

◆台風がくる前に

【参考図】

■ベランダに置いてある物が飛ばされて、ガラスが破損したりすると危険ですので、植木や空き箱などは室内に入れてください。

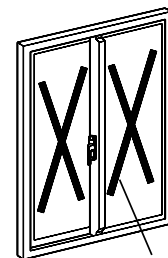
■飛来物などでガラスが破損する恐れのある場合には、ガラスに、ビニールテープなどを×字形に貼ってガラス飛散の予防をして、万一に備えることをおすすめします。【図-1】

■網戸が飛ばされないよう、網戸のはずれ止め金具を確認してください。

■窓や出入り口の扉は完全に閉めて施錠してください。また窓やドアの周辺の濡れては困る物を整理して、万一に備えることをおすすめします。

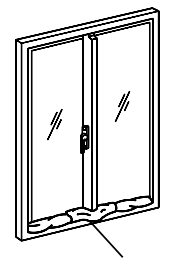
■窓の下側部分に雑巾やタオルなどを当てておくと、雨水のしぶき上げや室内への漏水を防止することができます【図-2】

■バルコニーの排水口はきれいに清掃してください。排水口に砂やゴミ、落葉などがたまっていると大雨の時に水があふれて住居に浸水したり下の階に漏水することがあります。



ビニールテープなど

【図-1】



雑巾やタオル

【図-2】

◆台風がきたら

■暴風時は、不用意に窓や扉の開閉はしないようにしてください。強風にあおられ窓や扉の破損や扉に指を挟むなどのケガにつながる可能性があります。

■暴風雨時に換気扇のご使用は極力避けてください。窓を閉め切っているため排気量に対し吸気量が足りなくなり漏水を誘発しやすくなります。

網戸の取り扱いに関するお願い

■網戸は、はずれ止め金具が確実にセットされていない場合、強風により脱落・落下する恐れがあります。特に清掃や網の張替え等により取外した事のある網戸については、はずれ止め金具が確実にセットされているか改めて確認していただくと共に、日頃よりはずれ止め金具が確実にセットされている事をご確認ください。網戸の脱落や落下による事故を未然に防ぐため、網戸の正しいご使用をお願いします。

◆下記のような状況では特に網戸のはずれ止め金具が正しく機能しているか確認をしてください。はずれ止めが機能していないと事故が発生する恐れがあります。

1. 掃除や網の張替えなどで取り外した場合…
2. 開け閉めの際に網戸が外れる…
3. 網戸を閉めた際に、たて枠との隙間が上下不均等で網戸が斜めになっている…

はずれ止め金具は、網戸の脱落を防止する金具で、網戸の上かまちの両端に取り付けられています。詳細は網戸取扱ページのはずれ止めの操作方法をご参照ください。

◆強風時は窓を開けた換気をやめ、窓を閉めてください

同じ空間の他のサッシやドアを開け閉めすることで風の通り道ができ、強風が室内を通過します。この室内の強風により室内のものが飛ぶことで思わぬアクシデントにつながります。また、強風時に窓を開けて網戸とカーテン（ブラインド）を併用すると、網戸がカーテンに重なり大きな風圧を受けることで網戸が破損（脱落）する恐れがあります。

◆網戸を取りはずし、バルコニー内にはずした網戸を放置しないでください

バルコニー内に網戸を放置していると、強風にあおられ飛ばされる恐れがあります。

◆強風で網戸が自走するような環境では、台風や強風時、窓を閉めると共に網戸を自走防止金具等で固定状態にしてください。

思わぬ突風により網戸が急激に動き、網戸が破損して脱落する恐れがあります。

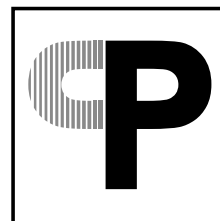
CPマークについて

侵入窃盗の大幅な増加に伴い、ドアや窓の防犯性能の強化が広く求められています。そのような流れを受けて、平成16年4月1日に警察庁より『防犯性の高い建物部品（防犯建物部品）』の目録が公開されました。この防犯建物部品は官民合同会議により認定され、最終試験に合格した製品にCPマークが貼られています。

■CPマーク

『防犯建物部品』のうち、「侵入抵抗時間5分仕様」の建物部品であることを示す標章を『CPマーク』と言います。

※『CPマーク』は、侵入手口に対する抵抗力を示すもので、すべての侵入行為に対してその防止を保証できるものではありません。



■ 商品保証について

弊社商品保証は、下記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。
保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生したときは、お取扱いの
建築会社様、工務店様または管理会社様に修理をご依頼ください。

保証期間

- 保証期間は施工者よりの引き渡し日（注1、注2）から2年間
（電装部品・フロアヒンジ・丁番型及びオフセット型ヒンジクローザについては1年間）
（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。
（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。
ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に
取り付けられた商品（同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令
第5条第2項に該当する部分に限る）からの雨水浸入については10年間（改修工事は対象外）

保証の範囲

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が
発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合では
ありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりする
ことです。

免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- (1) 締め金具の施錠及び解錠にかかわらずその状態に相反する操作を行い、損傷したとき。
- (2) サッシ及びドアの開口部に物を入れそのまま閉めて機能障害が発生したとき。
- (3) 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合。
- (4) お客様がご自身の都合で建具・網戸の取外しを行い、現状復帰に不具合が生じ、機能障害を起こしたとき。
- (5) 引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
- (6) お客様が修理や改造（必要部品の取外しを含む）を行い、そのために故障・損傷を起こしたとき。
- (7) 天災その他の不可抗力（暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水地盤沈下、火災など）による不具合または
これらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- (8) 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食などの不具合。
（例：塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス
などが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- (9) 当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合。
（例：海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）
- (10) 商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）、経年変化（樹脂部分の変質、変色など）
またこれらに伴うさび、かび又はその他の不具合。
- (11) 商品または部品の材料特性に伴う現象（例：木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、
樹液のにじみだしなど）
- (12) 実用化されている技術では予測することが不可能な現象、又はこれが原因で生じた不具合。
- (13) 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は、使用目的と異なる使用方法による場合の
不具合。
- (14) 犯罪行為などの不法な行為に起因する破損や不具合。
- (15) 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品不具合。
- (16) 機能上支障のない音や振動等の感覚的不具合。
- (17) 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合。

※次のような消耗部品については、保証期間中であっても有料となります。（当社製作上の不具合を除く）

ガラス押さえゴム、気密ゴム、モヘヤ、風止め板、はずれ止め、振れ止め、小口カバー 戸当たり、戸車、操作ツマミ、水抜き具、網戸の網、網押さえゴムなどの合成樹脂製品
--

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について
ご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

※保証期間終了後の保守

ご連絡いただければ別途、保守委託契約により保証いたします。

本書は、弊社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店または最寄りの営業所に修理をご依頼ください。

BL認定品の商品保証について

■保証期間・保証内容

弊社が供給したBL認定品（BLマーク証紙貼付）につきましては、取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

保証期間は施工者よりの商品の引き渡し日（注1、注2）から2年間といたしますが、特定機能については下記のごとく別途定められています。



BL認定品には左記のBLマークの入ったBLマーク証紙が貼付られています。

なお、強風雨時、サッシ下枠に雨水がたまるがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ枠を超えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。

（注3）ドアクローザ・錠前については、保証期間、保証内容、免責事項が別途定められています。

品 目	特 定 機 能	保 証 期 間
サッシ	雨水の浸入を防止する機能	10年
玄関ドア（戸建住宅用玄関ドアを除く）	手動での開閉機能	5年
改修用玄関ドア（戸建住宅用玄関ドアを除く）	手動での開閉機能	5年
墜落防止手すり	全般（取付金物の埋め込みに係るものを除く）	5年

（注4）万一弊社が倒産等している場合、弊社による瑕疵保証責任等に代わる措置がベタリーピングから受けられます。窓口連絡先は商品に貼り付けられているBLマーク証紙に記載されています。
連絡先:TEL 03-5211-0680

■免 責 事 項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①住宅用途以外で使用した場合の不具合
- ②当社の手配によらない第三者の加工上、組み立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合、
商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り・干割れ・変色など）や経年劣化（樹脂部品の変質・変色など）またはこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥環境が特に悪い地域または場所での腐食またはその他の不具合
（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑦天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災、津波、噴火など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合
- ⑨引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑩お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取りはずしを含む）に起因する不具合
- ⑪本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑫犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
- ⑬締り金具の施錠及び解錠にかかわらずその状態に相反する操作を行い、損傷したとき。
- ⑭サッシ及びドアの開口部に物を入れそのまま閉めて機能障害が発生したとき。
- ⑮お客様がご自身の都合で建具・網戸の取外しを行い、現状復帰に不具合が生じ、機能障害を起こしたとき。
- ⑯実用化されている技術では予測することが不可能な現象、又はこれが原因で生じた不具合。
- ⑰機能上支障のない音や振動等の感覚的不具合。

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

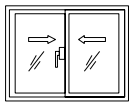
※取替パーツ（主要機能部品）は、生産中止後10年間保有しております。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

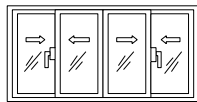
※保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

引違い窓・戸 (一般・防音・断熱タイプ)

商品バリエーション



引違い窓



四枚建て引違い窓

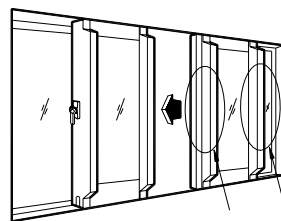
障子の開閉

■開閉操作

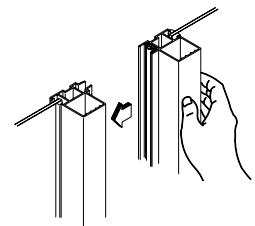
- ①クレセントをロックが解除される方向に180°回転してください。障子が移動可能になります。
- ②閉める時は、クレセントが当たらないことを確認し、障子をスライドさせてからクレセントを回してください。

■開閉操作 (四枚建てのみ)

- ①障子を閉鎖する時は突き合わせ框または召合せ框を押して操作してください。



突き合わせ框

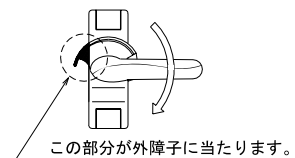


中央突き合わせ部内観図

お願い

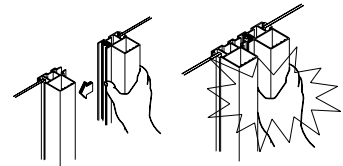
クレセントは、必ず右・左とも完全に180°回転してください。
 完全に回転しないと、障子が当たり破損や傷の原因となります。(共通)

突き合わせ框を持って操作する時は突き合わされる部分に手を添えないようにしてください。右図のように操作すると手や指を挟む危険があります。
 (四枚建てのみ)



この部分が外障子に当たります。

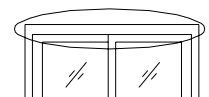
クレセントは、必ず右・左とも完全に180°回転してください。
 片側だけのクレセント操作では障子がロックされません。
 また、完全に回転させないと、障子が当たり破損や傷の原因となります。
 (四枚建てのみ)



窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

はずれ止め

障子の脱落を防止するためにサッシの上枠に取付けられている、プラスチック製の部品です。
 はずれ止めは窓の大きさにより大・小2種類のタイプがあります。
 (固定位置は、上枠に記載されています)

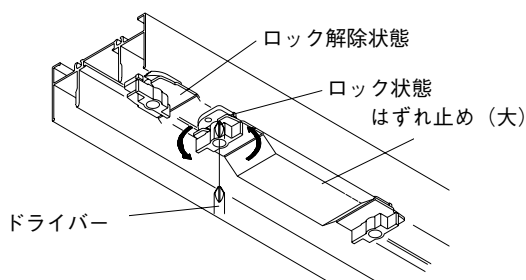


取付位置
上枠部にラベルで指定

■FNS-70系・NLS系

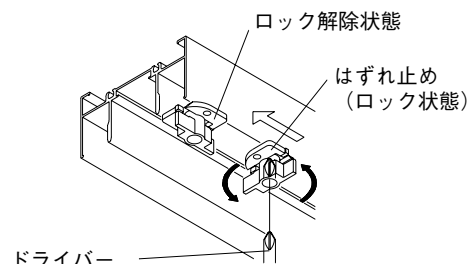
◆はずれ止め (大)

ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し90°はずれ止めを回転します。
 (左右2箇所)



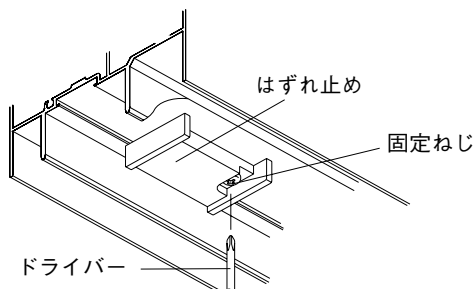
◆はずれ止め (小)

ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し90°はずれ止めを回転します。



※障子を清掃などで取り外すときは、はずれ止めと次項目の風止め板を縦枠側にずらしてから取り外してください。

■FNS-100



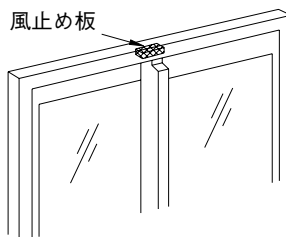
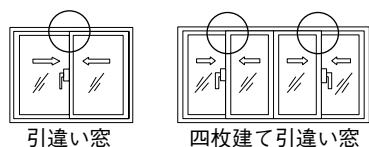
はずれ止めを移動させるには固定ねじをプラスドライバーでゆるめてから右または左に移動させてください。
(ねじは取りはずさないでください)

▲ 注 意

- ❶ お手入れなどのために障子をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。
また、ご使用中にはずれ止めがずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、障子が枠からはずれて落下し、事故（人身・物損）につながるおそれがあります。

召合せ上部から風の進入を防ぐためにサッシの上枠に取付けられている、プラスチック製の部品です。

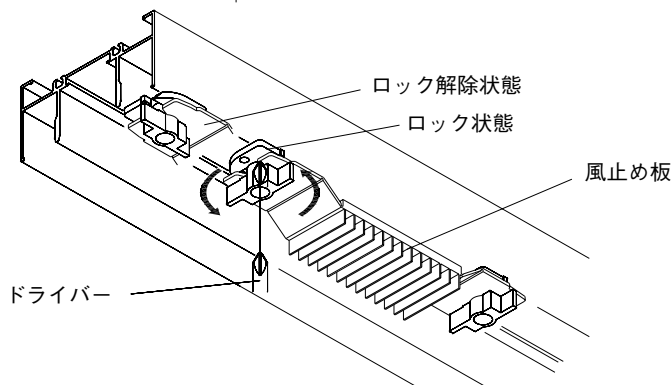
■開口形式別取付位置



■FNS-70系

◆操作方法

ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し、90°はずれ止めを回転します。
(左右2箇所)ロックが解除されて移動可能になります。

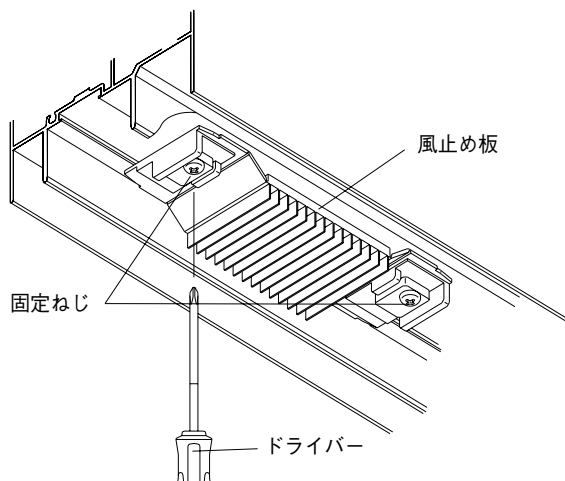


※障子を清掃などで取り外すときは、風止め板と前記のはずれ止めを縦枠側にずらしてから取り外してください。

■FNS-100

◆操作方法

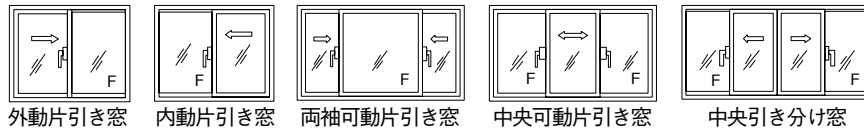
ロックを解除するには固定ねじをプラスドライバーでゆるめてから右または左に移動してください。
(ねじは取りはずさないでください)



※FNS-70AT・FNS-100AT系には操作可能風止め板はありません。

■ 片引き① (一般・防音・断熱タイプ)

商品バリエーション



障子の開閉

■開閉操作 (中央可動は除く)

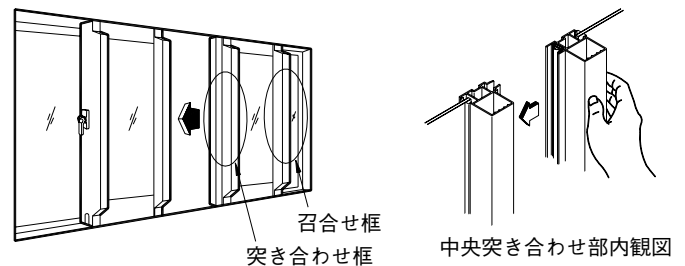
- ①クレセントをロックが解除される方向に180°回転してください。障子が移動可能になります。
- ②閉める時は、クレセントが当たらないことを確認し、障子をスライドしてからクレセントを回転してください。

■開閉操作 (中央引き分け (内動) のみ)

- ①障子を閉鎖する時は突き合わせ框または召合せ框を押して操作してください。

■開閉操作 (中央可動のみ)

- ①左右のクレセントを両方とも、上又は下に180°回転してください。ロックが解除され、障子が移動可能になります。
- ②閉める時は、左右のクレセントが当たらないことを確認し、障子をスライドしてから、必ず左右のクレセントを回転してロックしてください。



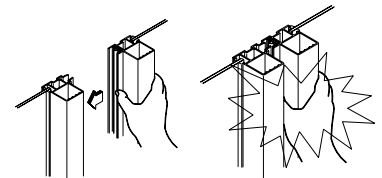
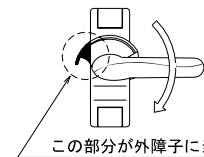
お願い

クレセントは、必ず右・左とも完全に180°回転してください。完全に回転しないと、障子が当たり破損や傷の原因となります。(共通)

突き合わせ框を持って操作する時は付き合わされる部分に手を添えないようにしてください。右図のように操作すると手や指を挟む危険があります。(中央引き分け (内動) のみ)

クレセントは、必ず右・左とも完全に180°回転してください。片側だけのクレセント操作では障子がロックしません。また、完全に回転しないと、障子が当たり破損や傷の原因となります。

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。



はずれ止め

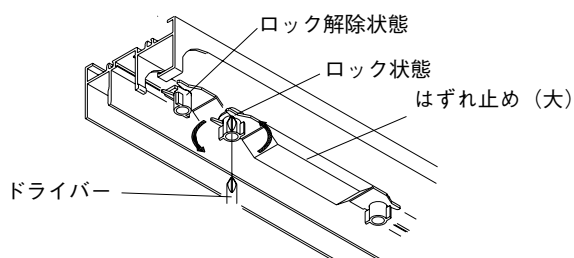
障子の脱落を防止するためにサッシの上枠に取付けられている、プラスチック製の部品です。はずれ止めは窓の大きさにより大・小2種類のタイプがあります。(固定位置は、上枠に記載されています)



■FNS-70系・NLS系

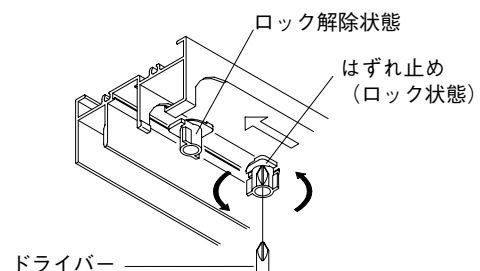
◆はずれ止め (大)

ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し90°はずれ止めを回転します。(左右2箇所)



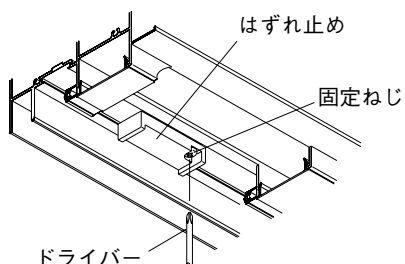
◆はずれ止め (小)

ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し90°はずれ止めを回転します。



※障子を清掃などで取り外すときは、はずれ止めと次項目の風止め板を縦枠側にずらしてから取り外してください。本図は外動片引き窓用です。形状は商品種により異なりますが、操作方法是変わりません。

■FNS-100



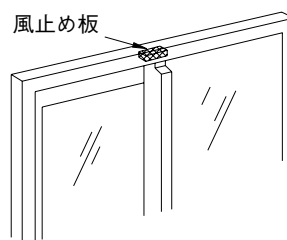
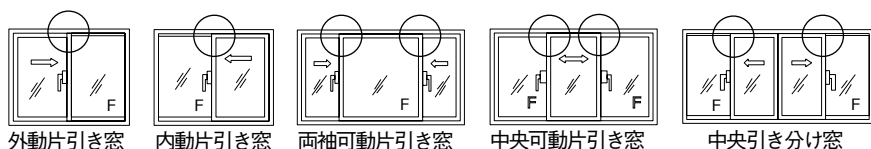
はずれ止めを移動させるには固定ねじをプラスドライバーでゆるめてから右または左に移動してください。
(ねじは取りはずさないでください)

▲ 注 意

- ❶ お手入れなどのために障子をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。
また、ご使用中にはずれ止めがずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、障子が枠からはずれて落下し、事故（人身・物損）につながるおそれがあります。

召合せ上部から風の進入を防ぐためにサッシの上枠に取付けられている、プラスチック製の部品です。

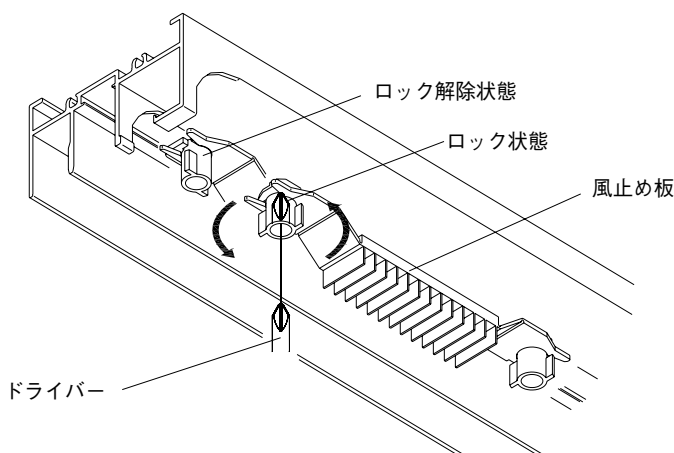
■開口形式別取付位置



■FNS-70系

◆操作方法

ロックを解除するには図の位置にプラスドライバーを使用し、90°はずれ止めを回転します。
(左右2箇所)ロックが解除されて移動可能になります。



※障子を清掃などで取り外すときは、風止め板と前記のはずれ止めを縦枠側にずらしてから取り外してください。

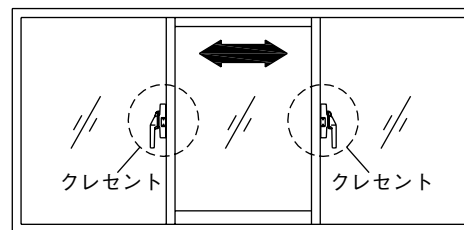
※FNS-70AT・FNS-100系には操作可能風止め板はありません。

中央可動（バイパス窓）の操作

■FNS-70系

中央の障子のみ可動する窓です。使用するときは下記の注記をよくお読みになり正しくご使用願います。

- ①左右のクレセントを両方とも、ロックが解除される方向に180°回転してください。障子が移動可能になります。
- ②閉める時は、左右のクレセントが当たらないことを確認し、障子をスライドさせてから、必ず左右のクレセントを回転してロックしてください。

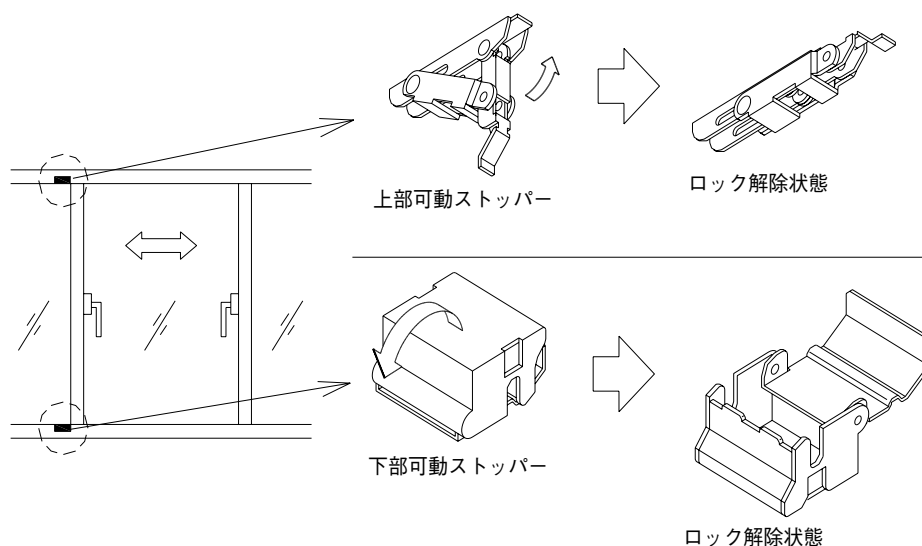


お願い

- ⚠ クレセントは、必ず右・左とも完全に180°回転してください。片側だけのクレセント操作では障子がロックされません。また、完全に回転しないと、障子が当たり破損や傷の原因となります。

■可動ストッパー

中央可動式片引き窓は、障子のストッパーに可動式のストッパーを採用しています。ストッパーを解除することにより障子が左右に移動可能になります。窓の清掃などでストッパーを解除した場合は、作業終了後必ずセットし直してください。



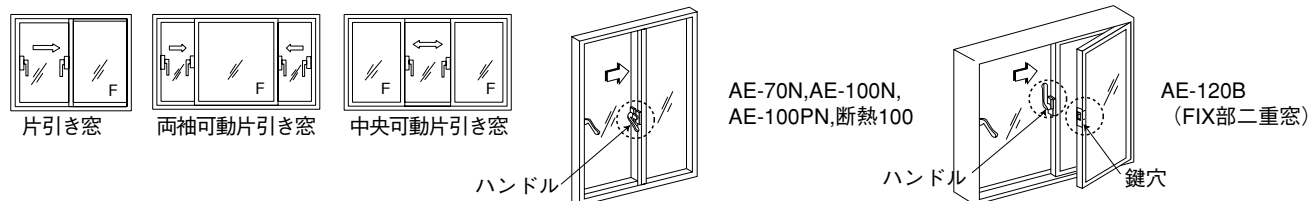
お願い

ストッパーは片方（上部または下部）のみで使用しないでください。脱輪の恐れがありますので上下同時に働くようにしてください。

□AE-70N □AE-120B □断熱100
□AE-100N □AE-100PN

■ 片引き② (AE系 防音・断熱タイプ)

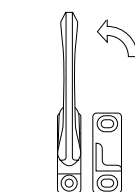
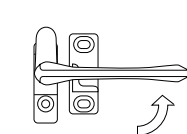
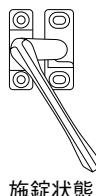
商品バリエーション



障子の開閉

■ 開閉操作

- ①左右のハンドルを上へハンドルが垂直な状態になるように回転すると、引き寄せ装置及びハンドルロックが解除されます。
- ②左右のハンドルロック解除を確認後、障子を開放してください。
- ③閉める時は、障子を完全に閉めてから、左右のハンドルを回転しロックしてください。



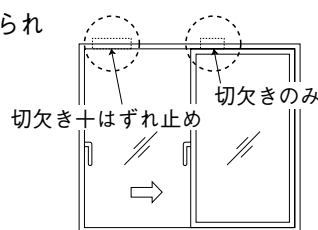
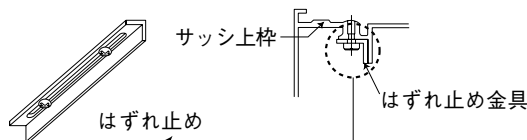
お願い

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。ある程度ハンドルを回転すると自動的に戻りますが、中途半端な操作では故障いたしますので、完全に左右のハンドルを定位置に戻してから開閉してください。下枠などにゴミなどがありますと、破損や脱輪の原因となりますので清掃してください。

はずれ止め

障子の脱落を防止するためにサッシの上枠の切り欠き部分をふさいで取り付けられている、L型のアルミ製品です。

(切り欠き部分をふさいでいる状態が、はずれ止めが機能している状態です)

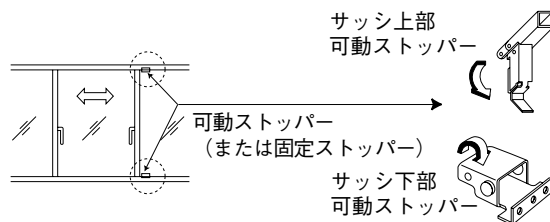


▲ 注意

- ❗ サッシ枠のはずれ止め金具は切り欠き部分をふさいだ位置で固定してください。障子が窓枠からはずれると事故につながります。

可動ストッパー (中央可動のみ)

中央可動片引き窓は、障子のストッパーに可動式のストッパーを採用しています。ストッパーを解除することにより障子が左右に移動可能になります。窓の清掃などでストッパーを解除した場合は、作業終了後必ずセットし直してください。

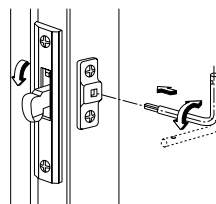


FIX部の内部障子の開閉 (AE-120Bのみ)

FIX部は二重窓になっており、内部側の障子はメンテナンスのために開閉するようになっています。下記の手順に従って開閉操作をおこなってください。

■ 開閉操作

ロック解除は、FIX部障子にある鍵穴に締めりキーを差し込み時計回りまたは反時計回りに90°回転させると解除されます。(鍵の回転方向は障子の開き勝手により異なります。)
施錠する時は、障子が完全に閉まったことを確認してから、解除と逆の方向に締めりキーを回転させておこないます。



お願い

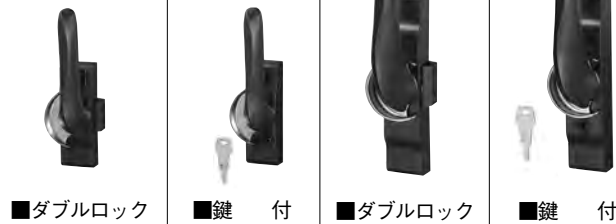
窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。メンテナンスで障子を開放した場合は、メンテナンス後必ずロックをしてください。内障子が開き、事故やけがにつながります。

■ スライディング窓オプション金具

クレセントバリエーション

□FNS-70 □FNS-70EAT □FNS-70AT □FNS-70P □NLS-I □NLS-II
□FNS-100 □FNS-100AT □FNS-100断熱

■樹脂製クレセント

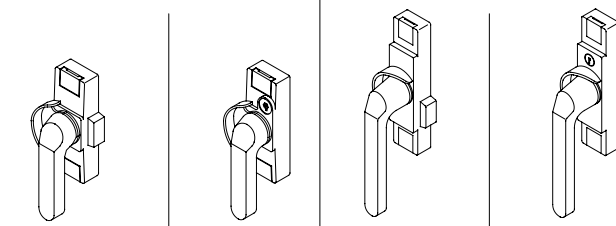


■ダブルロック

■鍵 付

■ダブルロック

■鍵 付



■ダブルロック

■鍵 付

■ダブルロック

■鍵 付

■クレセントの操作

- ダブルロック (標準タイプ)
 - ・クレセントの横に付いているボタンを上下させることにより、ハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりすることができるタイプです。
- 鍵 付
 - ・クレセントの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、ハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりすることができるタイプです。

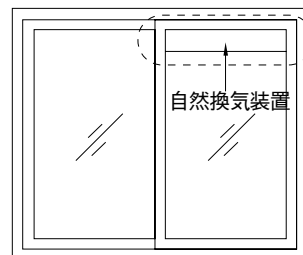
お願い

クレセントのダブルロックまたは鍵をかけた状態でクレセントを無理に操作しないでください。クレセントの破損につながる可能性があります。

※クレセントのデザインは予告なく変更されることがあります。

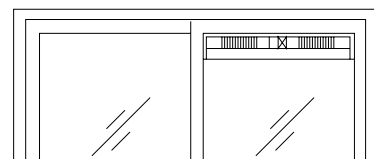
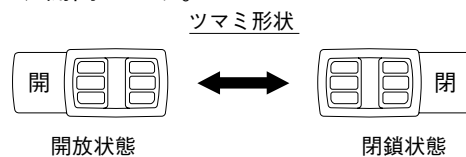
自然換気装置

引違い窓に取り付けられる自然換気装置です。



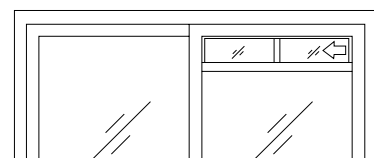
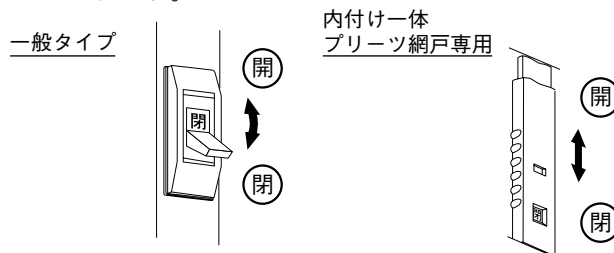
◆換気框の開閉

換気框にある操作用ツマミを左右にスライドさせることにより、開閉します。



◆換気小窓の開閉

小窓中央部の締めり金具を解除し、右側のガラスをスライドさせてください。引き加減で通気量の調整ができます。



お願い

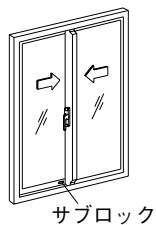
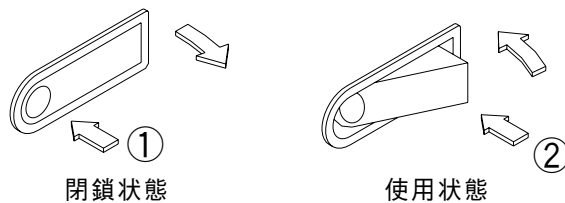
防犯上、お出かけになる場合には小窓を閉めてください。
風の強い時には、小窓を必ず閉めてください。

サブロック

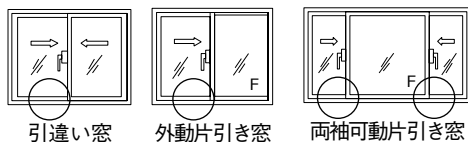
本品はクレセント締まりの補助金具として取り付けられています。クレセントと併用してご使用ください。

◆操作方法

1. サブロック使用時は右図の①を押してください。
先端が飛び出しストップ機能が有効になります。
2. サブロックを収納する時は、飛び出しているストッパーの先端（右図②）を押し込むとストップ機能が無効になります。



開口形式別取付位置



お願い

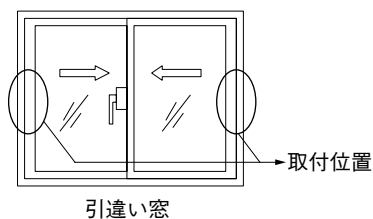
ご使用の際は必ずクレセントと併用してください。
サブロックが掛かった状態で無理に障子を開閉しないでください。
サッシまたはサブロックの破損につながることがあります。

本品は、窓の開閉をテコの原理を応用した構造で、窓の操作を小さな力でこなえる操作ハンドルです。
ご使用の際は本書を良くお読みになり正しくお使いください。

お願い

障子を開ける場合はクレセントを解錠してから操作してください。金具の破損につながります。
閉鎖時、障子とたて枠の間に指を挟まないようにご注意ください。指を挟み思わぬ事故やけがにつながります。
開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

イーズハンドル

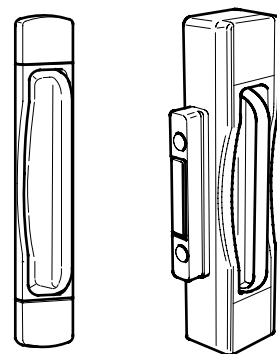


◆開閉操作(内観右側での操作説明)

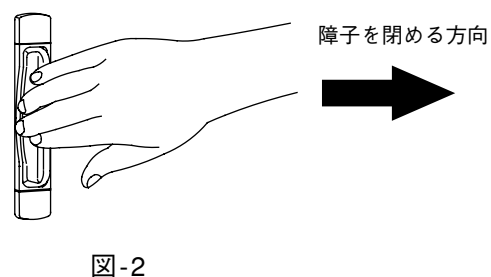
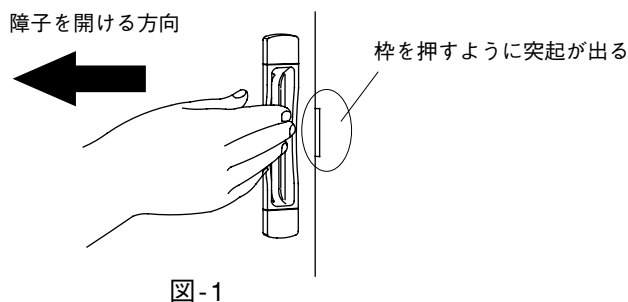
障子を開ける時は、図-1のように、引き手に手をかけて障子を開ける方向に引いて窓を開けてください。

(テコの原理により枠を押すようにして障子が開きます)

障子を閉める時は、図-2のように、引き手に手をかけて障子を閉める方向に引いて窓を閉めてください。



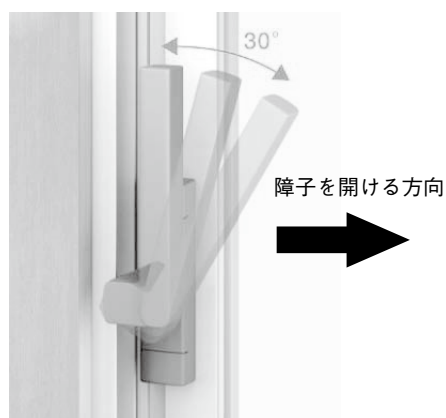
通常型 面付け型
イーズハンドル



ユニバーサルハンドル

◆開閉操作

- ①ハンドルを図-3のように矢印の方向に引いてください。
- ②ハンドルが枠を蹴り出して軽く扉が開きます。



ユニバーサルハンドル

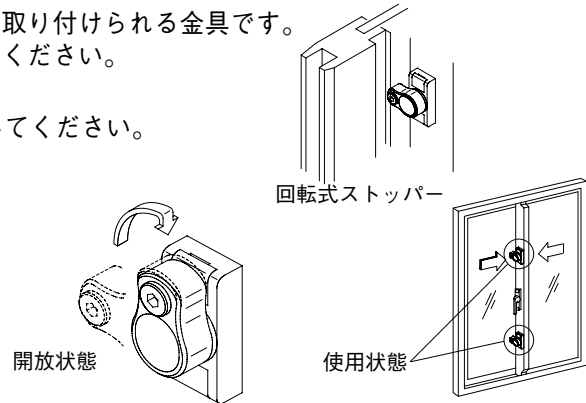
回転式ストッパー

本品は、窓開放時に指を障子に挟まないようにするために取り付けられる金具です。
ご使用の際はこの説明書を良くお読みになり正しくお使いください。

本品は通常ストッパーを掛けた状態で使用します。
窓を全開に開放する場合は下記の手順にしたがって操作してください。

■ストッパーの操作方法

- ①ストッパーを解除する時は90° 上に回転して上を向いた状態で下に下げると、ストッパーが上向きで固定されます。
- ②元に戻す時は逆の手順で元に戻してください。



お願い

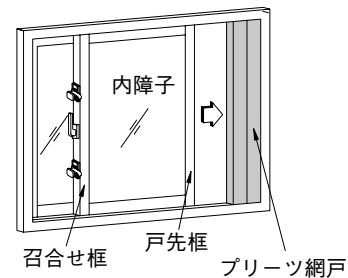
障子の開閉操作はゆっくりおこなってください。無理な操作は商品の破損・思わぬ事故やけがにつながります。
ストッパーを開放状態から使用状態に戻す時には、ストッパーを上を持ち上げてから回転してください。
無理に回転すると金具破損の原因となることがあります。

ストッパーは上または下1個での使用はしないでください。商品が破損する恐れがあります。

ストッパー解除後、作業を終了したら必ず元の状態に戻してください。

室内側へ180° 回る構造になっていますが、プリーツ網戸が取り付けられている場合は180° 回転しないでください。
やむをえず回転する場合は下記の注意事項に気をつけてください。

プリーツ網戸一体商品の場合はストッパーを180° 開放する際、必ずプリーツ網戸を縦枠側（引違いの時は内障子側縦枠・片引きの時は左右寄せられる方の縦枠）へ収納してから開放してください。ストッパー金具がプリーツ網戸と接触しストッパーやプリーツ網戸の破損の原因となることがあります。



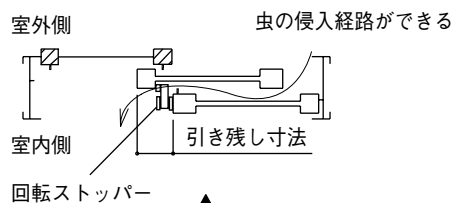
■ストッパー使用時の網戸の使用方法について

網戸の種類及び使用条件により防虫効果が異なりますので、次の事項をご理解の上正しくご使用ください。

①外障子を開放して使用する場合

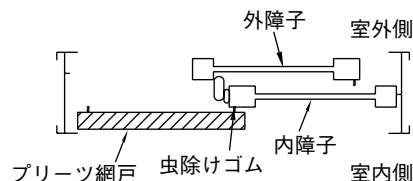
◆一般網戸

外障子と内障子との間にスキマが生じますので防虫効果が十分発揮されません。



◆プリーツ網戸・イーズネット

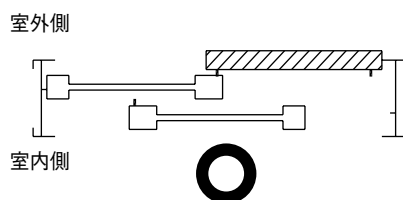
外障子がどの位置にあっても防虫効果は十分発揮されます。



②内障子を開放して使用する場合

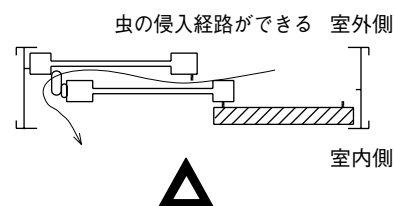
◆一般網戸

内障子がどの位置にあっても防虫効果は十分発揮されます。



◆プリーツ網戸・イーズネット

内障子と外障子との間にスキマが生じますので防虫効果が十分発揮されません。

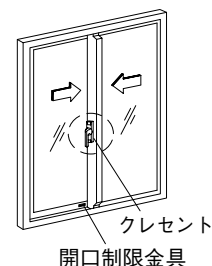
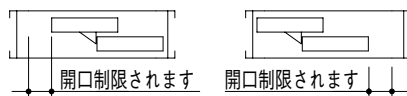


開口制限ストッパー

本品は、換気などの目的で窓を開放したときに、窓の開口寸法を制限するための商品です。必ずご使用前にこの説明書をお読みにになり正しくお使いください。

■障子の開閉

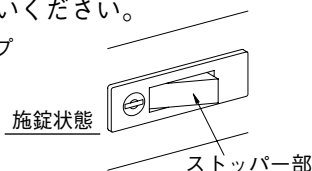
- ①クレセントを上又は下に180°回してください。
ロックが解除され、障子が移動可能になります。
- ②ストッパーにより開口幅が規制されて開きます。



■開口制限ストッパーの種類

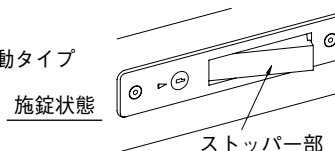
開口制限ストッパーには3種類あり操作方法が異なりますので、ご使用になる前に対象品の確認をして正しくお使いください。

①標準タイプ



②高強度タイプ

③高強度内外連動タイプ



お願い

ストッパー施錠状態での過剰な力による障子開放操作はしないでください。

ストッパーが破損し、窓が全開できなくなる恐れがあります。

障子の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。(各商品共通)

破損などの原因でストッパーが解除できなくなった場合は、メーカーへ修理の連絡をしてください。

高強度タイプでストッパーの破損により窓が全開できない場合は、二面幅2.5ミリの六角レンチでストッパー金具の固定ねじを取り外して金具を手前に引き抜いてください。

金具の取り付けられていた場所はガムテープなどで塞ぎ、メーカーへ修理の連絡をしてください。



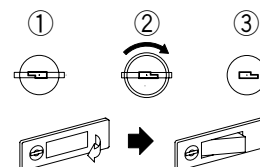
■開口制限ストッパーの使用方法

開口制限ストッパーには3種類あり操作方法が異なりますので、ご使用になる前に対象品の確認をして正しくお使いください。

ー標準タイプー

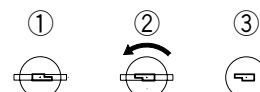
□施錠時

- ①鍵を差し込む。
 - ②鍵を時計回りに180°回す。(施錠状態になる)
 - ③鍵を抜く
- ※施錠後に事故防止のため飛び出したストッパー部を指で押して、解錠しないことを必ず確認してください。



□解錠時

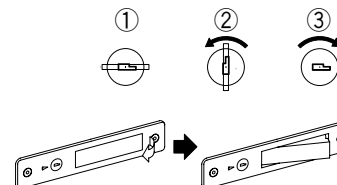
- ①鍵を差し込む。
- ②鍵を反時計回りに180°回す。(解錠状態になる)
- ③鍵を抜く



ー高強度タイプ (内外連動含む)ー

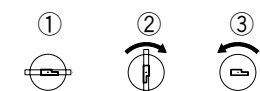
□施錠時

- ①鍵を差し込む。
 - ②鍵を反時計回りに90°回す。(施錠状態になる)
 - ③鍵を時計回りに90°回し、鍵を抜く
- ※施錠後に事故防止のため飛び出したストッパー部を指で押して、解錠しないことを必ず確認してください。



□解錠時

- ①鍵を差し込む。
- ②鍵を時計回りに90°回す。(解錠状態になる)
- ③鍵を反時計回りに90°回し、鍵を抜く



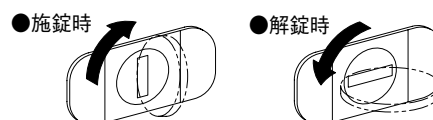
ー室外からの操作 (内外連動タイプのみ)ー

□施錠時

- ①コイン等で時計回りに90°回す。

□解錠時

- ①コイン等で反時計回りに90°回す。



戸先締まり

本品は、防犯性を高めるために取り付けられるオプション金具でクレセントと併用して使用することにより高い防犯性能を発揮します。

■戸先締まり種類

①オートロックタイプ（腰高窓用）

引違い窓・片引き窓の戸先框に内蔵されており、窓を閉めると自動的に施錠されるタイプです。
窓の鍵のかけ忘れを防止します。

▼マーク（緑色）

②マニュアルロックタイプ（テラス窓用）

引違い窓・片引き窓の戸先框に内蔵されており、手動で室内側から施錠操作をおこなうタイプです。
出入りをおこなう窓に取り付けられます。

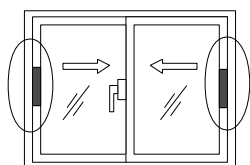
▼マーク（緑色）

（開放状態）

■操作手順

◆オートロックタイプ（腰高窓用）

窓を閉鎖した状態では常にロックがかかった状態になります。窓を開けるときは下記の手順にて操作をおこなってください。



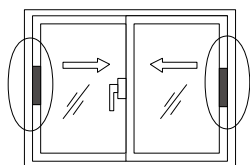
取付位置

◇操作手順

1. 締まり金具を指で押し下げます。
 2. 締まり金具を指で押し下げたまま指を離さずに窓を開けてください。
 3. 窓が開いたら締まり金具から指を離してください。
- ※窓を閉鎖すると戸先締まりは、自動的に施錠されます。

◆マニュアルロックタイプ（テラス窓用）

室内側より手動で締まり金具を操作します。
金具の施錠・解錠は下記の手順にて操作をおこなってください。

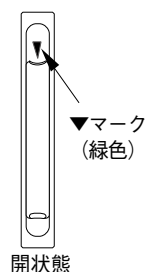


取付位置

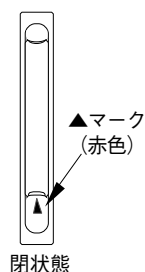
◇操作手順

1. 締まり金具を指で上げると施錠されます。
2. 締まり金具を指で下げると解錠されます。

※締まり金具の施錠・解錠は締まり金具の表示マークにて判別できるようになっています。



開状態



閉状態

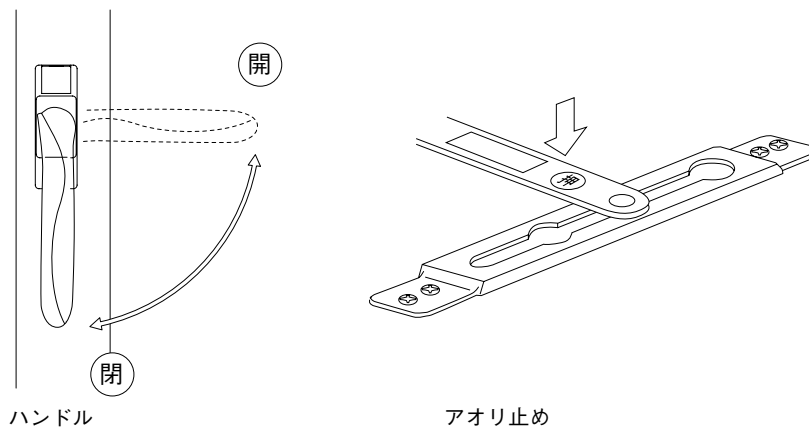
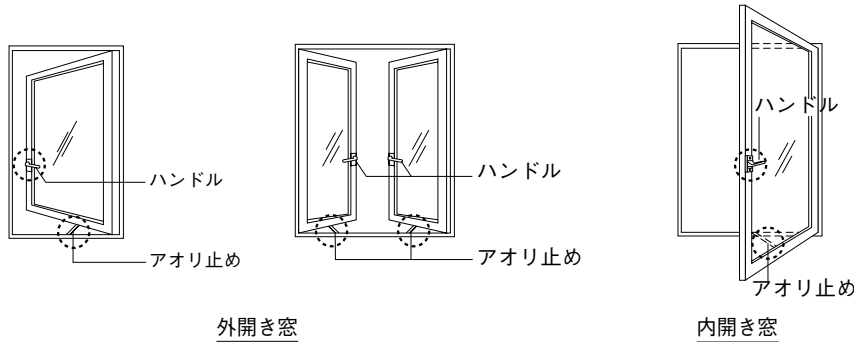
お願い

締まり金具が掛かった状態で無理に窓を開けないでください。締まり金具の破損の原因となることがあります。

本品は補助ロック金具ですので、施錠時は必ずクレセントも同時に掛けてください。

障子の開閉

- ①ハンドルを上へ90° 回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、障子が止まるまで押出したり手前に引いてください。
- ③アオリ止め金具が働き、設定された角度で自動的に障子がストップし固定されます。
- ④固定角度を変えたいときは、アオリ止め金具の(押)のラベル部分を押しながら障子を開いてください。
次の設定角度で止まります。
- ⑤障子を閉める時は、アオリ止め金具の(押)のラベル部分を押しながら障子を閉めてください。
- ⑥障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口（火災時に消防隊が外部から進入できる窓）であり、障子が90° まで一度に開きます。風にあおられる恐れがありますので、開閉は注意しておこなってください。（外部ハンドルで、障子が外から開けられます。）

お願い

開閉時障子が動き出したら、アオリ止めから手を離してください。
手や指を挟み、思わぬ事故やけがにつながります。
開閉操作はゆっくりおこなってください。
急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
窓開放時ハンドルを“閉”方向に回さないでください。窓を閉める時にハンドルを“閉”にしていると、窓を破損させる恐れがあります。

△ 注意

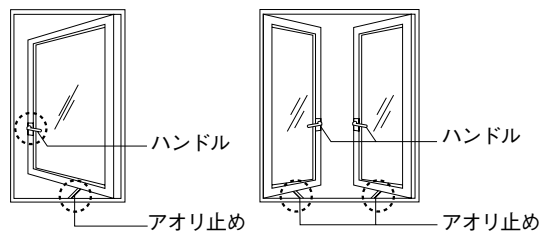
- ❗ 風の強い時は窓を閉めて、必ずハンドルをロックしてください。ロックをしないと、障子が風であおられ急激に開放して衝撃を受け、破損・落下等の恐れがあり、思わぬ事故やけがにつながります。

開放バリエーション

たてすべり出し窓は、バリエーションごとに操作方法がことなりますのでバリエーションご確認の上、注意事項を良く読み正しくご使用ください。

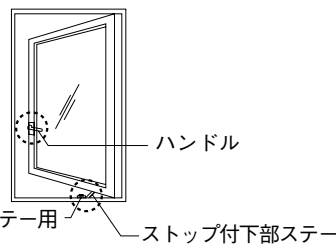
1. アオリ止め付き

指定角度で固定するアオリ止め金具が付いたタイプで、決められた一つの角度で固定されるタイプと、複数の角度で止まるタイプがあります。(30°、45°、90°)



2. アオリ止めなしストップ付き下部ステー付き

指定角度で固定するストップ付き下部ステー金具が付いたタイプで、複数の角度で止まります。(約41°、90°)

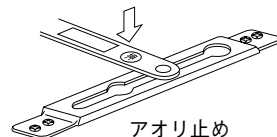


3. アオリ止めなし、90° ストップのみ (窓幅700mm以下)

障子の開閉

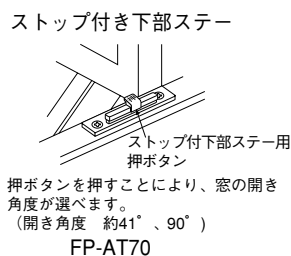
1. アオリ止め付き

- ①ハンドルを上90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、障子が止まるまで押出してください。
- ③アオリ止め金具が働き、設定された角度で自動的に障子がストップし固定されます。
- ④固定角度を変えたいときは、アオリ止め金具の(押)のラベル部分を押しながら障子を開いてください。次の設定角度で止まります。
- ⑤障子を閉める時は、アオリ止め金具の(押)のラベル部分を押しながら障子を閉めてください。
- ⑥障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



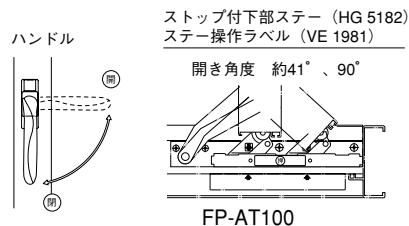
2. アオリ止めなしストップ付き下部ステー付き

- ①ハンドルを上90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、障子が止まるまで押出してください。約41°で自動的に障子がストップし固定されます。
- ③固定角度を変えたい時は、「ストップ付下部ステー用押ボタン」を押しながら障子を開いてください。次の設定角度90°でストップし、固定されます。
- ④障子を閉める時は、「ストップ付下部ステー用押ボタン」を押しながら障子を閉めてください。
- ⑤障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



3. アオリ止めなし、90° ストップのみ (窓幅700mm以下)

- ①ハンドルを上90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、障子が止まるまで押出してください。90°の位置まで開くことができます。
- ③障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口(火災時に消防隊が外部から進入できる窓)であり、障子が90°まで一度に開きます。風にあおられる恐れがありますので、開閉は注意しておこなってください。(外部ハンドルで、障子が外から開けられます。)

お願い

開閉時障子が動き出したら、アオリ止めから手を離してください。手や指を挟み、思わぬ事故やけがにつながります。

開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

窓開放時ハンドルを“閉”方向に回さないでください。窓を閉める時にハンドルを“閉”にしていると、窓を破損させる恐れがあります。

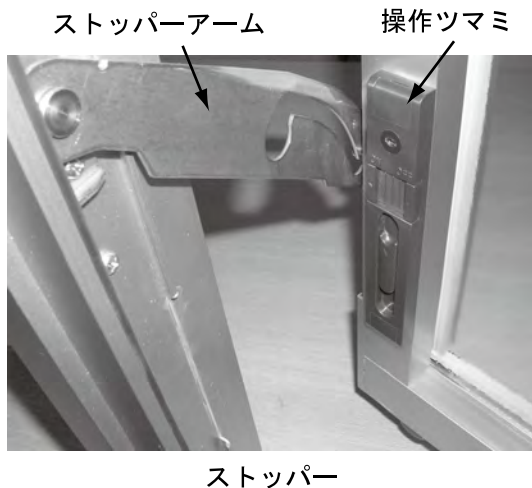
△ 注意

- ① 風の強い時は窓を閉めて、必ずハンドルをロックしてください。ロックをしないと、障子が風であおられ急激に開放して衝撃を受け、破損・落下等の恐れがあり、思わぬ事故やけがにつながります。

■ 開き窓・たてすべり出し窓オプション部品の取扱い (開口制限ストッパー)

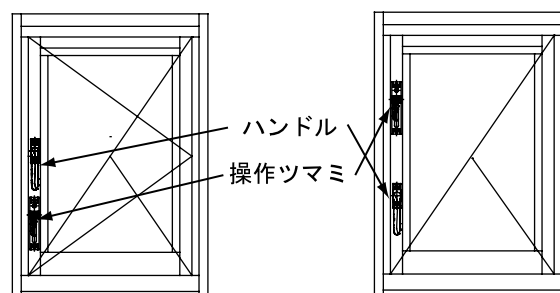
本品は窓の開放幅を約90mmに制限するオプションのストップ金具です。
ストップ金具を解除することにより窓を全開にすることができます。
ご使用の際には、本取扱説明書を良くお読みになり正しく使用してください。
窓本体の取扱いについては本体の取扱説明書をお読みください。

開口制限ストッパー



■ 取付位置

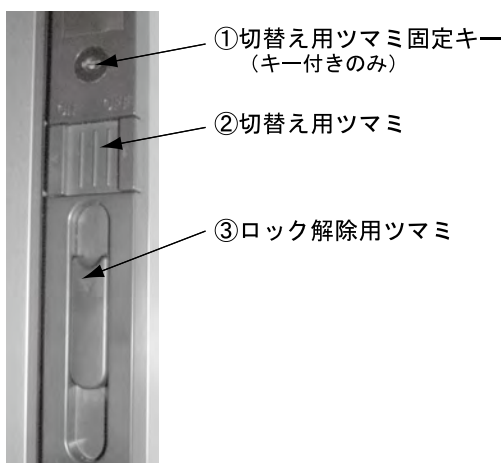
本品はハンドルの上または下の位置に取り付けられています。



開閉操作について

開口制限ストッパーはキー付きとキー無しの2種類があります。
操作の際は、下記の操作手順にしたがって操作してください。

■ 操作ツマミの各部名称とはたらき



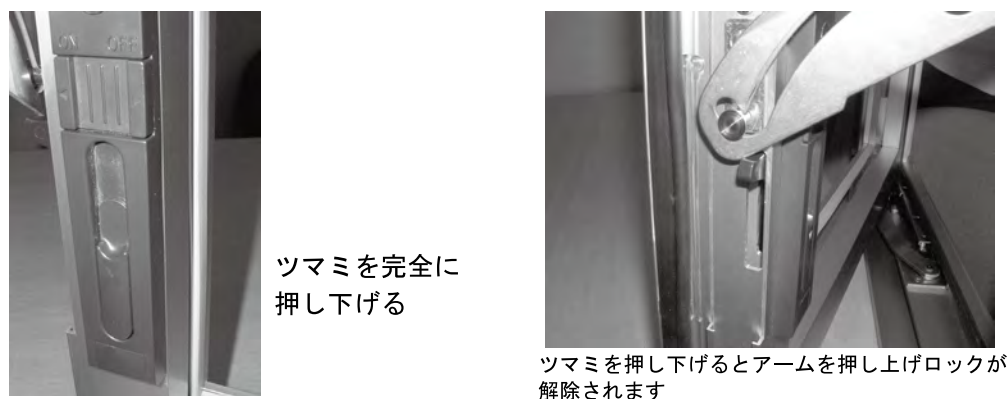
- ①切替え用ツマミ固定キー (キー付きのみ)
切替え用ツマミの動きを固定するための鍵です。
- ②切替え用ツマミ
ツマミを横スライドすることによりON・OFFの切替えをおこない窓の開口制限と全開放を切り替えることができます。
- ③ロック解除用ツマミ
開口制限のかかった窓を閉鎖する時にストッパーアームのロックを解除するときに使用します。

■開口制限ストッパーの使用手順

1. 上記の②切替え用ツマミがONの状態になっていることを確認してから、窓のハンドルを開放して窓を開けてください。アームストッパーがはたらいて約90mmの開口寸法で窓の開放が止まります。



2. 窓を閉鎖する時は③ロック解除用ツマミを完全に下まで押し下げてください。
アームストッパーを押し上げるツメが出てきてアームストッパーを持ち上げ、ロックが解除されます。



3. ロックが解除されたらハンドルを持って窓を手前に引いて閉鎖してください。
4. 最後にハンドルを閉鎖状態にしてください。

※〈キー付き時〉通常窓の全開放をしない場合や、させたくない場合は固定キーを施錠しておくことで切替え用ツマミを“ON”で固定することができます。

⚠ 注意

- ⓪ 風の強い時は窓を開けないでください。障子が風であおられ急激に開放して衝撃を受け、破損・障子落下の恐れがあり、思わぬ事故やけがにつながります。

お願い

ストッパーがかかっている状態でストッパーアームにさわらないでください。ストッパーアームのロックが解除され窓が閉鎖する恐れがあり、思わぬ事故やけがにつながる場合があります。

窓が全開放状態の時に、切替え用ツマミを“ON”にしないでください。

金具が当たり窓が閉鎖しなくなります。また、金具破損の原因ともなりますのでご注意ください。

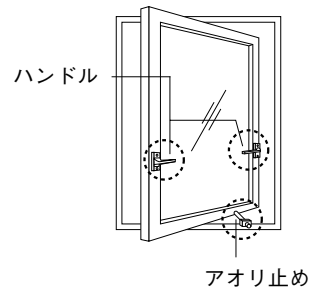
■ たて軸回転窓の取扱い

開放バリエーション

たて軸回転窓は、バリエーションごとに操作方法がことなりますのでバリエーションご確認の上、注意事項を良く読み正しくご使用ください。

■面付式アオリ止め

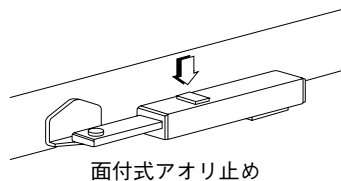
室内面に露出型のアオリ止め金具が付属しています。



障子の開閉

- ①両側のハンドルを上 90° 回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、障子が止まるまで回転させてください。
- ③アオリ止め金具が働き、設定された角度で自動的に障子がストップし固定されます。
- ④固定角度を変えたい時は、アオリ止め金具の(PUSH)・(押)ボタンを押しながら障子を開いてください。
次の設定角度で止まります。
- ⑤障子を閉める時は、アオリ止め金具の(PUSH)・(押)ボタンを押しながら障子を閉めてください。
- ⑥障子を閉めたら、必ず両側のハンドルを下向きにしてロックしてください。

ハンドルの回転方向、障子の開く方向は、
ハンドル下の操作ラベルに記載されています。



ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口（火災時に消防隊が外部から進入できる窓）であり、障子が 90° まで一度に開きます。
風にあおられる恐れがありますので、開閉は注意しておこなってください。（外部ハンドルで、障子が外から開けられます。）

お願い

開閉時障子が動き出したら、アオリ止めから手を離してください。手や指を挟み、思わぬ事故やけがにつながります。
開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
窓開放時ハンドルを“閉”方向に回さないでください。窓を閉める時にハンドルを“閉”にしていると、窓を破損させる恐れがあります。

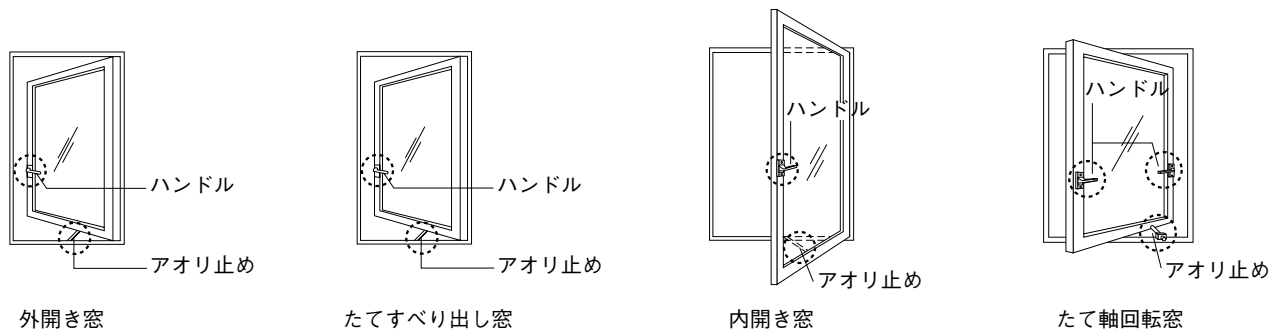
△注意

- ❶ 風の強い時は窓を閉めて、必ずハンドルをロックしてください。ロックをしないと、障子が風であおられ急激に開放して衝撃を受け、破損・落下等の恐れがあり、思わぬ事故やけがにつながります。

■ スイング窓オプションハンドルの取扱い

対象バリエーション

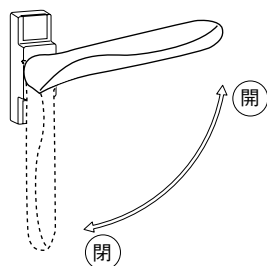
オプションハンドル対象の開口形式は以下のとおりです。障子の開閉操作については各窓の取扱説明をご覧ください。



ハンドル種類

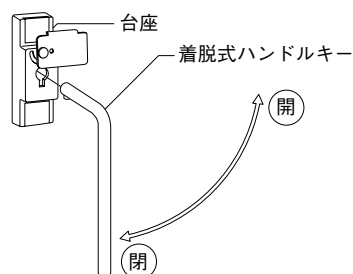
上記の機種は、ハンドルのタイプが下記の3種類のいずれかになります。

1. 標準ハンドル



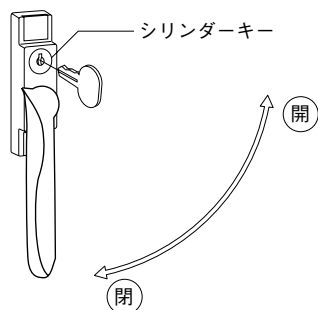
ハンドルを上 90° 回してください。
ロックが解除されます。

2. 着脱式ハンドルキー



ハンドルキーが着脱式になっています。
台座のキー孔カバーを動かしてハンドルキーを
差し込み、上 90° 回してください。
ロックが解除されます。

3. シリンダーキー付ハンドル



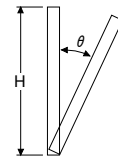
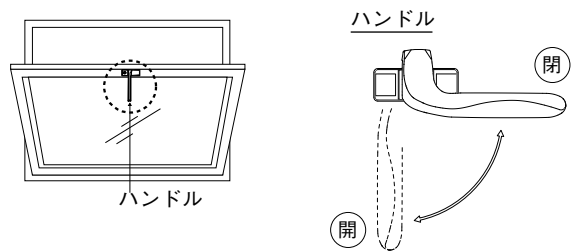
標準ハンドルと類似していますが、台座上部に
シリンダーキーが付いています。
キーを操作することにより、ハンドルが上 90°
回せるようになります。

内倒し窓の取扱い (ハンドル式・トップラッチ式)

障子の開閉

■ハンドル式

- ①ハンドルを下に90°回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、障子が止まるまで引いてください。
設定された角度で自動的に障子がストップします。
- ③障子を閉める時は、ハンドルを下向きのまま押してください。
- ④障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。



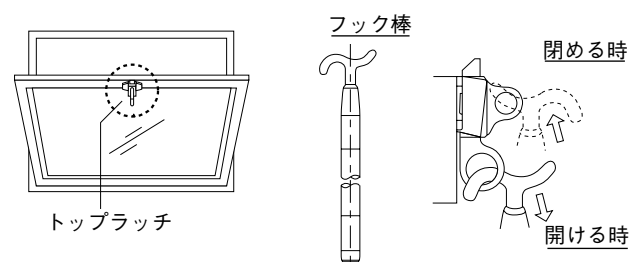
■開き角度区分

サッシの高さ(H)	角度θ
300mm～749mm	30°
750mm～1100mm	20°

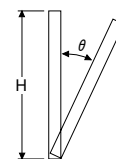
障子の開き角度はサッシの高さにより異なります。上記の開き角度は目安です。

■トップラッチ式

- ①上框の締めり金具（トップラッチ）の丸環部分に手またはフック棒を掛けて、静かに引いてください。ロックが解除されます。
- ②①の状態から、障子が止まるまで引いてください。設定された角度で自動的にストップします。
- ③障子を閉める時は、トップラッチの丸環部分に手またはフック棒を掛けて静かに障子を押し上げて閉め、トップラッチがロックされたことを確認してください。



トップラッチ形状



■開き角度区分

サッシの高さ(H)	角度θ
300mm～749mm	30°
750mm～1100mm	20°

障子の開き角度はサッシの高さにより異なります。上記の開き角度は目安です。

お願い

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

△注意

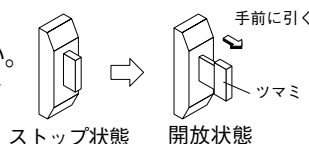
- ❶ 風の強い時は窓を閉めて、必ずハンドルをロックしてください。
ロックをしないと、障子が風であおられ急激に開閉して衝撃を受け、破損・落下等の恐れがあり、思わぬ事故やけがにつながります。

内倒しストッパーの操作方法

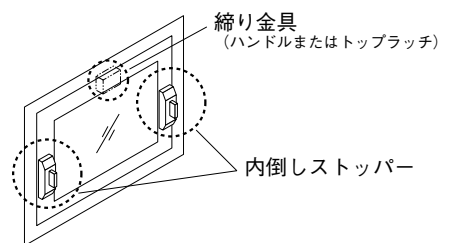
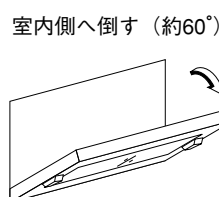
本品は、網戸のメンテナンスなどの時に内倒し角度を大きくするための金具です。メンテナンス時以外は操作しないでください。
(サッシサイズ 高さ600mm以下の時取付け)

1. 開放操作手順

- ①完全に閉鎖されていることを確認してください。
- ②左右たてかまちに取り付いている内倒しストッパーのツマミを手前に引きます。



- ③障子を支えながら締めり金具（ハンドルまたはトップラッチ）を解錠します。
- ④障子が止まるまで室内側へ倒すと約60°の角度でストップします。



お願い

開閉操作はゆっくりおこなってください。
急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

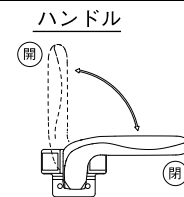
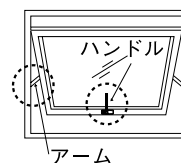
窓の開放時ロックがされないため清掃やメンテナンス作業時に手や指を挟まないよう注意してください。

※閉鎖する時は上記と逆の手順でおこなってください。
※閉鎖時は確実に内倒しストッパーのツマミを押し戻してください。

すべり出し窓の取扱い

障子の開閉

- ①ハンドルを上 90° 回してください。ロックが解除されます。
- ②ハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。
設定された角度で障子がストップします。
- ③障子を閉める時は、ハンドルを上向きのまま押ししてください。
- ④障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。



お願い

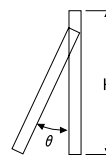
窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

注意

- ❶ 風の強い時は窓を閉めて、必ずハンドルをロックしてください。
ロックをしないと、障子が風であられ急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等の恐れがあり、思わぬ事故やけがにつながります。

開き角度区分

サッシの高さ(H)	角度 θ
300mm～499mm	30°
500mm～799mm	25°
800mm～1100mm	20°



障子の開き角度はサッシの高さにより異なります。上記の開き角度は目安です。

□FP-AT70 □FP-AT100

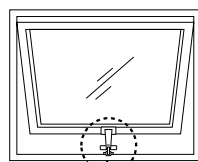
突出し窓の取扱い

(リンケージロック)

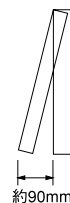
障子の開閉

リンケージロック

- ①ハンドル（リンケージロック）のA部分を持ち上げながら、半円を描くように前に押し出してください。
- ②ロックが解除され、ハンドルの長さ分だけ窓が開きます。
- ③障子を閉める時は、ハンドルのA部分を持ち上げながら、半円を描くように手前に引いてください。

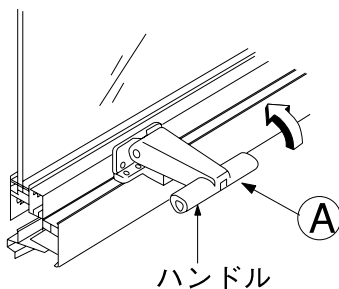


リンケージロック

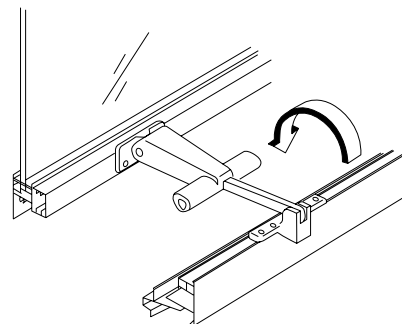


約90mm

障子の開き寸法は窓の大きさに関係なく、約90mmです。



ハンドル



お願い

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

注意

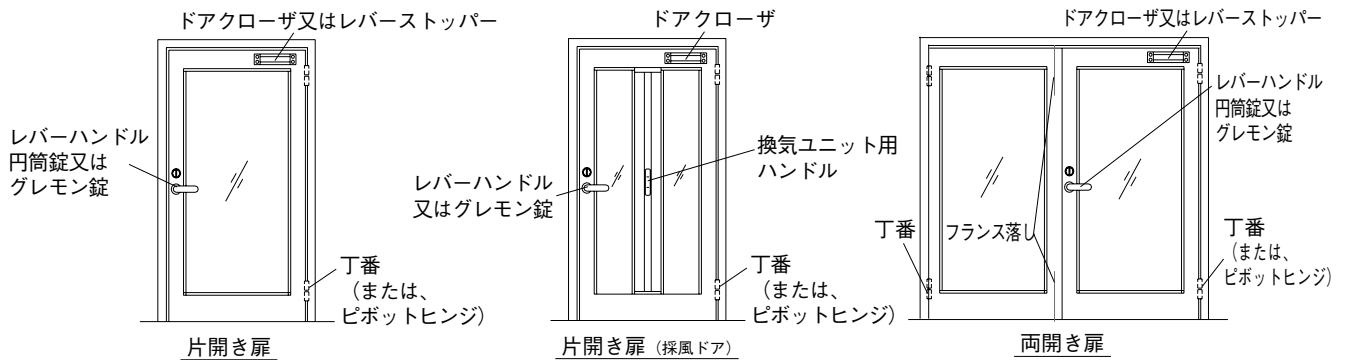
- ❶ 風の強い時は窓を閉めて、必ずハンドルをロックしてください。
ロックをしないと、障子が風であられ急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等の恐れがあり、思わぬ事故やけがにつながります。

- ☐ アルミ
 ☐ ステンレス
☐ スチール

開き扉の取扱い

(ドアクローザ・丁番・レバーストッパー・グレモン締めり・採風ドア)

商品基本パターン



自閉装置および扉ストップ装置の操作

■ドアクローザ

ドアクローザは開いた扉を自動的に閉める装置です。

1. ドアクローザはストップ付きとストップ無しの2種類の商品があります。
(ストップ付きは、扉を90°開いた状態で扉の作動を停止する機能を有しています)
 2. 同室内で他の開口部(窓、玄関扉など)が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなることがあります。
- ※ドアクローザの■使用上のお願い、■速度調整のしかた、については別頁「ドアクローザの取扱い」をご覧ください。

■レバーストッパー

レバーストッパーは扉を90°開いた状態で軽く固定する金具です。

1. 同室内で他の開口部(窓、玄関扉など)が開いていると、風の流動により急激に開閉することがあります。

使用上の注意

△注意

1. 風の強い時は、扉の開閉に注意してください。
風にあおられてドアが急激に閉まるなどして、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

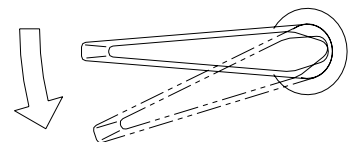
開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な扉の開閉は手を挟むなど事故やけがにつながる恐れがあります。扉と枠の間には物を入れないでください。物を入れたりすると扉に曲がりが発生し、施錠が悪くなったり、扉が完全に閉まらなくなったりなどの不具合が発生します。扉の押引手は、開閉させるためのものです。子供を遊ばせたり、ぶら下がったりさせないでください。

グレモン締めりの操作(グレモン締めり仕様時のみ)

グレモン締めりは、レバーハンドルの操作により、ドアの上下枠にロッド棒を突き出して施錠をおこないます。次の操作手順に従って操作をしてください。

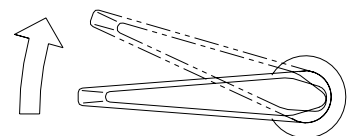
■開放時

- ①サムターン(シリンダー)を解除した後、レバーハンドルを下へ押し下げた状態で扉を開けてください。



■閉鎖時

- ①扉を閉めた後、レバーハンドルを一度上に押し上げてグレモン締めりを作動させ、サムターン(シリンダー)を回してください。



錠 前

錠が回りにくくなった場合の簡単なメンテナンス方法を記載します。
注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

■掃除機による方法

- ①掃除機を錠穴に当ててほこりを吸い取ってください。

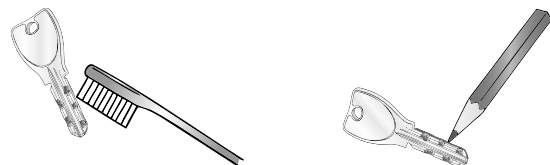
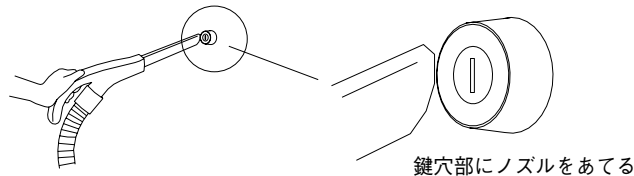
■錠のお手入れ

- ①錠は定期的に古くなった歯ブラシなどで表面のホコリをはらってください。
錠のくぼみなどにたまったほこりなどが錠の抜き差しを悪くする原因となることがあります。

■鉛筆による方法

錠の抜き差しがスムーズでない場合には次の方法で調整をおこなってください。

- ①錠の切り込み部分をやみぞを鉛筆で強めになぞり黒く塗りつぶします。
- ②数回錠穴に抜き差ししてください。
- ③終了後、錠についた黒鉛をふきとってください。
黒鉛が付着したまま使用されますと衣服などを汚す場合があります。

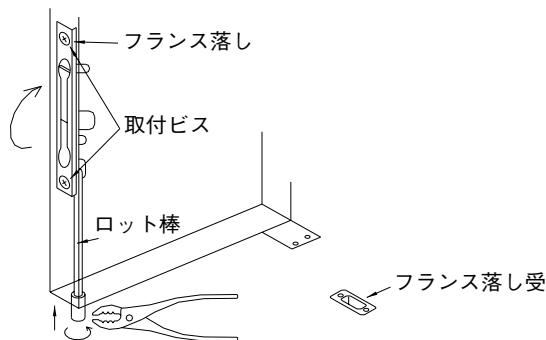


お 願 い

1. 錠および錠穴には、油をささないでください。
故障につながる可能性があります。
2. 施錠した時は、念のためにハンドルを動かして施錠状態を確認してください。

フランス落し

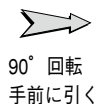
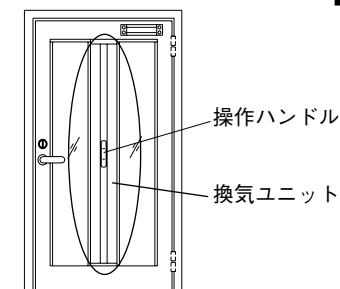
- ①両開き扉の場合には、片側の扉を固定する金具（フランス落し）が上下に取付けられています。
使用中、破損やゆるみが生ずると扉の機能に支障をきたすことがあります。
- ②フランス落しを動かしても扉の上下がスムーズに開かない場合は、ロット棒のゆるみが原因ですので、フランス落しの取付ビスを取りはずし、フランス落しを手前に引きながら10mm程度引き上げて扉を開いてください。
- ③扉を90°まで開き、フランス落しをもと通りに戻して取付け、ロット棒をプライヤーなどで締付けてください。



換気ユニットの操作（採風ドアのみ）

■換気ユニットの操作

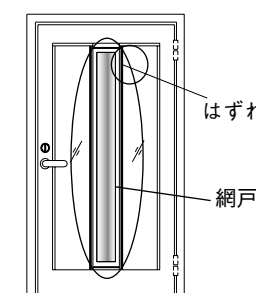
- ①操作ハンドルを90°回転させてロックを解除します。
- ②ハンドルを持ったまま手前に引くと換気蓋が開き換気状態になります。



お 願 い

開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な開閉は手を挟むなど事故やけがにつながる恐れがあります。
扉と換気ユニットの間に手や指を入れないでください。手や指を挟み事故やけがにつながります
操作ハンドルは換気ユニットを確実に扉に押しつけたことを確認してから操作してください。
無理な操作はハンドルなどの金具の破損につながる可能性があります。

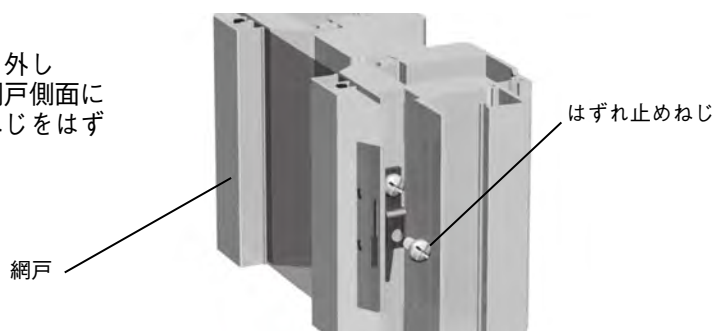
網戸の取り外し（採風ドアのみ）



換気ユニットの外部面に網戸が取り付けられておりますが、網戸を清掃などで取り外す場合は以下の手順に従って網戸を取り外してください。

■網戸の取り外し

- ①はずれ止めの取り外し
扉正面右上部の網戸側面にあるはずれ止めねじをはずします。



はずれ止め部拡大図

- ②網戸の取り外し

網戸は側面にある掛け金具にて扉に引っ掛かっているため網戸を持ち上げて手前に引くと取り外しができます。



網戸の取り外し

お願い

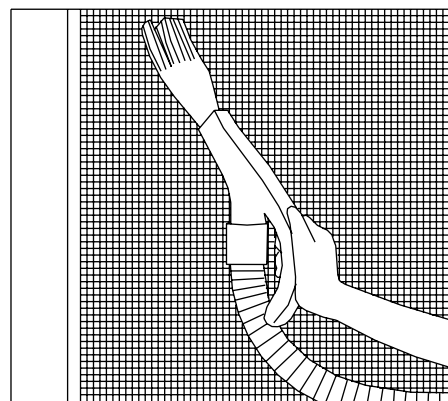
網の片側より強く押さえないでください。網がはずれたり、破れたりします。
網には火気を近づけないでください。

△注意

- ❗ お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、はずれ止め金具を必ずかけてください。思わぬ事故やけがにつながる恐れがあります。

網戸のお手入れ（採風ドアのみ）

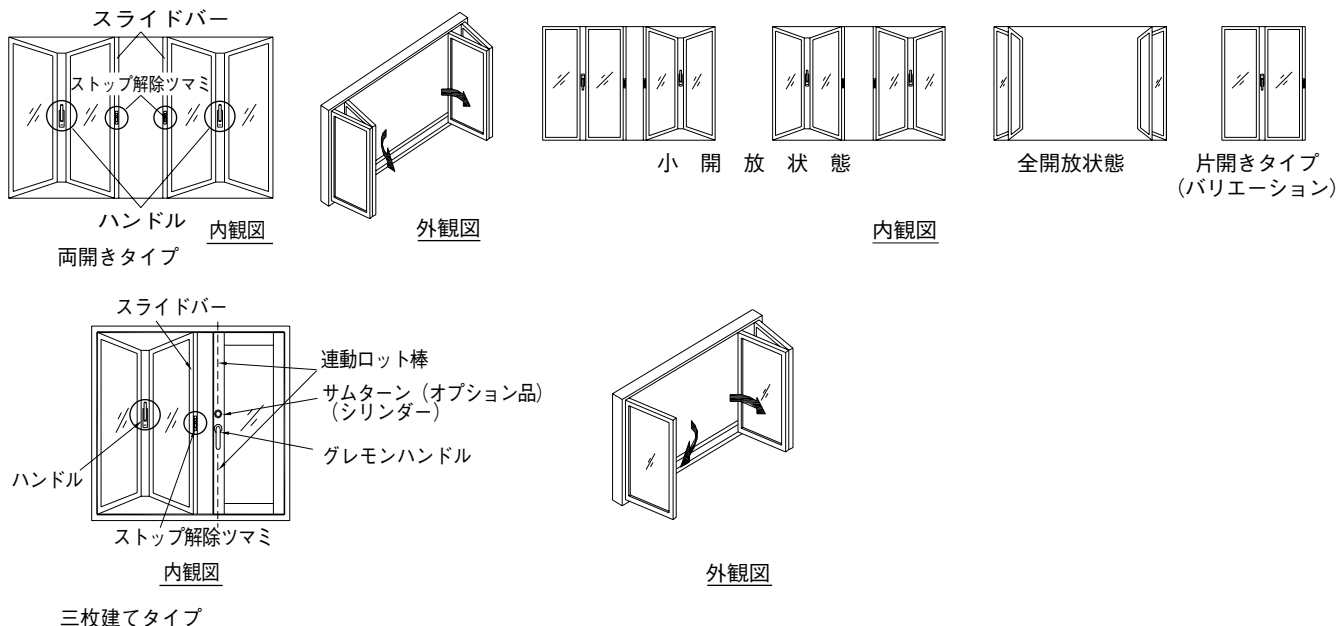
1. 水を含ませた柔らかい布やスポンジなどで、軽く表面の汚れを落してください。
2. 電気掃除機をお使いの場合は、ブラシのついた吸込み口を取付けて軽くこするようにお使いください。
3. 汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布や、スポンジなどで、汚れを落としてください。汚れが落ちたら水を含ませた布やスポンジなどでふきとってください。



■ 全開口サッシの取扱い

商品基本パターン

当商品は、小開放・全開放 2 段階の開放機能を持っています。
本取扱説明書を良くお読みになって正しくご使用ください。

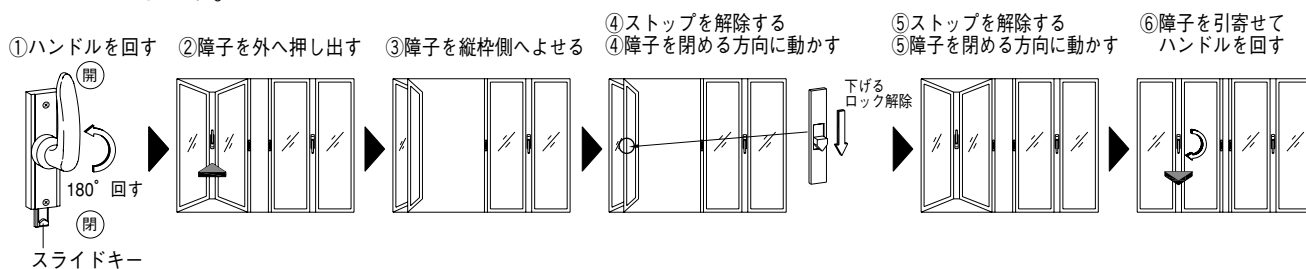


折れ戸の開閉操作

- ① ハンドルを反時計回りに180° 回すと折れ戸が解錠されが移動可能になります。
- ② ハンドルを持ったまま室外側へ障子を押し出すと障子が中折れ状態になります。
- ③ スライドバーの手掛けを持ち縦枠側へ移動させるとロックがかかり全開放状態になります。
※開きの速度が遅いときには、小開放状態でロックがかかることがあります。
- ④ スライドバーについているストップ解除ツマミを下げるとロックが解除されるのでスライドバーを持って閉める方向に引き出していくと、小開放状態でロックがかかります。
- ⑤ スライドバーについているストップ解除ツマミを下げて、スライドバーを持って閉める方向に引きます。
- ⑥ ハンドルを持ち障子を手前に引き寄せてから、ハンドルを時計回りに180° 回して障子を施錠します。

◆ ハンドルはスライドキー付きです

ハンドルは下部にあるスライドキーを上下させることによりハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりすることができます。



△ 注意

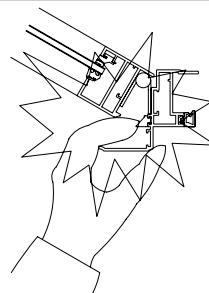
- ❗ 風の強い時は、扉の開閉に注意してください。
風にあおられて扉が急激に閉まるなどして、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

ハンドル操作は確実にこなってください。中途半端な位置での操作は故障の原因となります。

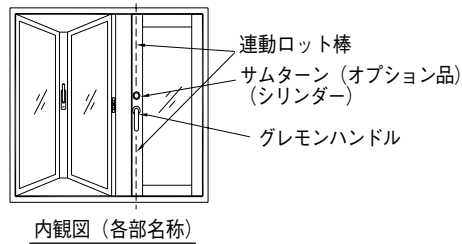
窓の開閉操作はゆっくりこなしてください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

閉操作時、手掛けの奥まで指を入れないでください。手や指をはさみ思わぬ事故やけがにつながります。



開き戸の開閉操作（三枚建て）

三枚建ての開き戸側の操作は次の手順によりおこなってください。



■グレモン締まりの操作

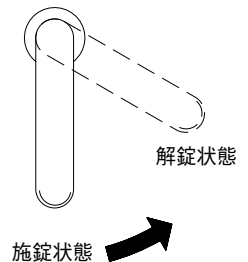
グレモン締めは、レバーハンドルの操作により、ドアの上下枠にロッド棒を突き出して施錠をおこないます。次の操作手順に従って操作をしてください。

◆開放時

- ① ハンドルを60° 回転させると解錠されます。扉を開いてください。
※サムターン（シリンダー）が取付けられてる時は、先にサムターンを解錠してからハンドルを操作してください。

◆閉鎖時

- ① 扉を閉鎖後、ハンドルを60° 回転させて施錠してください。
※サムターンが取付けられている時は、ハンドル操作後サムターンを施錠してください。
※サムターンはオプション品です。



ドアクローザ（自閉装置）

ドアクローザは開いた扉を自動的に閉める装置です。

- ① ドアクローザは扉を90° 開いた時にストップ状態になります。
- ② 同室内で他の開口部（窓など）が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなることがあります。

※ドアクローザの ■使用上のお願い、■速度調整のしかた、については、別頁 **ドアクローザの取扱い** をご覧ください。

（本品はNewStar 60シリーズ 162N（62Nストップ付）を使用しています）

△ 注 意

- ❗ 風の強い時は、扉の開閉に注意してください。
風にあおられて扉が急激に閉まるなどして、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お 願 い

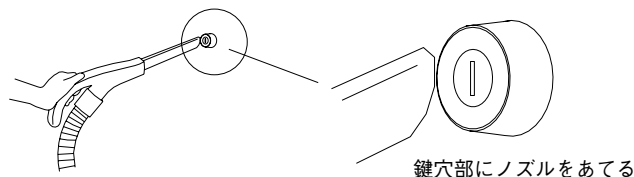
ハンドル操作は確実にこなってください。中途半端な位置での操作は故障の原因となります。窓の開閉操作はゆっくりこなしてください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。突風が吹いた時などに扉が自閉する可能性があります。扉の開閉は注意しておこなってください。

錠前 (オプション)

錠が回りにくくなった場合の簡単なメンテナンス方法を記載します。
注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

■掃除機による方法

- ①掃除機を錠穴に当ててほこりを吸い取ってください。

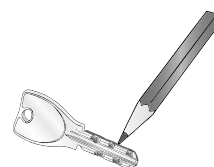


■錠のお手入れ

- ①錠は定期的に古くなった歯ブラシなどで表面のホコリをはらってください。
錠のくぼみなどにたまったほこりなどが錠の抜き差しを悪くする原因となることがあります。



古い歯ブラシなどで表面の
ホコリをはらう



鉛筆でくぼみなどをなぞる
ホコリをはらう

■鉛筆による方法

錠の抜き差しがスムーズでない場合には次の方法で調整をおこなってください。

- ①錠の切り込み部分をやみぞを鉛筆で強めになぞり黒く塗りつぶします。
②数回錠穴に抜き差ししてください。
③終了後、錠についた黒鉛をふきとってください。
黒鉛が付着したまま使用されますと衣服などを汚す場合があります。

お願い

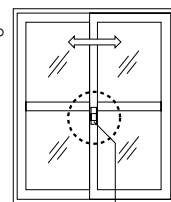
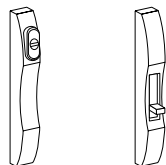
1. 錠および錠穴には、油をささないでください。
故障につながる場合があります。
2. 施錠した時は、念のためにハンドルを動かして施錠状態を確認してください。

■ 引戸の取扱い

障子の開閉

サムターンまたは鍵で引戸錠のロックを解除すると、左右の戸が移動可能になります。
(片引戸の場合は片側のみの移動になります)

引戸錠



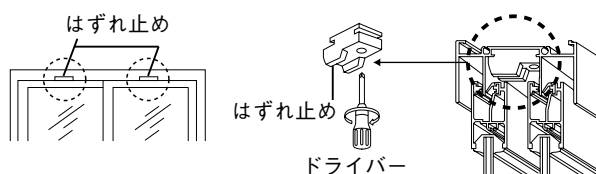
引戸錠

お願い

引戸錠は戸が開いている状態では、無理に操作しないでください。無理に操作すると破損、故障の原因となります。

はずれ止め

戸の脱落を防止するためにサッシ上枠に取り付けられている、プラスチック製の部品です。
(固定位置は上枠に記載されています)

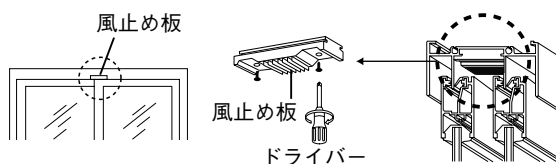


△ 注意

❗ 障子を窓枠に取り付けた時は、はずれ止め部品を必ず表示の位置に固定してください。障子が窓枠からはずれ、事故（人身・物損）につながるおそれがあります。

風止め板

召合せ上部からの風の進入を防ぐためにサッシ上枠に取り付けられている、プラスチック製の部品です。



お願い

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
下枠にゴミなどがあると、破損や脱輪の原因となりますので清掃してください。

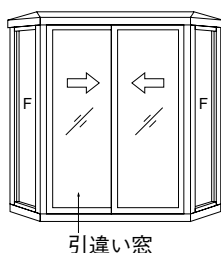
□ビル用出窓

■ 出窓の取扱い

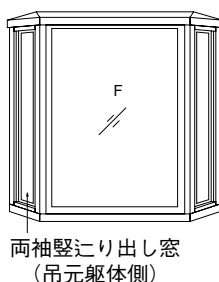
出窓に使用されている各障子の操作は、各開口形式のページを参照してください。

ビル用出窓バリエーション (外観図)

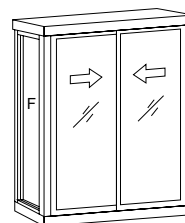
■ 引違い型出窓



■ 両袖縦り出し型出窓



■ スクエア型出窓(引違い型)



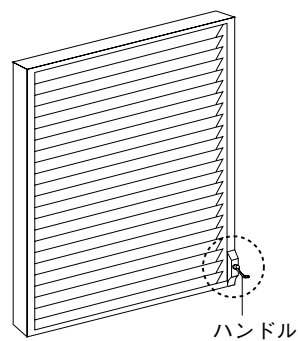
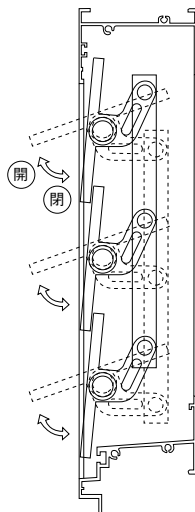
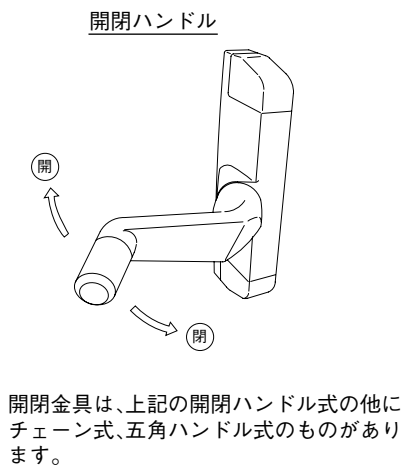
お願い

屋根部には、はしごをかけたり、乗ったりしないでください。破損のおそれがあります。
地板の上に乗ったり重い物を載せないでください。思わぬ事故やけがにつながります。

■ ガラスルーバーの取扱い

ルーバーの開閉

- ①ハンドルを回すと、ルーバー（羽根）が85° 位まで開きます。
- ②ハンドルを逆に回すと、ルーバー（羽根）が閉まります。



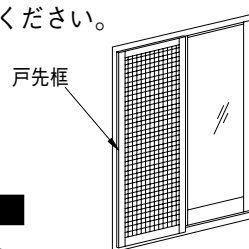
お願い

無理なハンドル操作はしないでください。無理な操作をすると故障や破損につながります。
ガラスの切口部分には触れないでください。
（清掃時、ガラスの切口に触れる時は、けがをしないようにしてください）

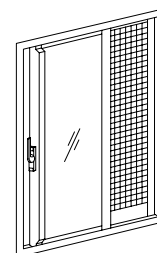
■ スライディング窓用網戸の取扱い

網戸の操作

網戸の操作は戸先框の中央付近に手をかけて開閉をしてください。



外観図
(網戸使用状態)



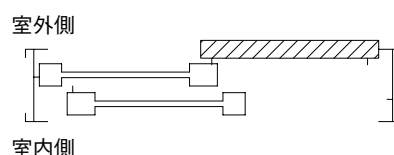
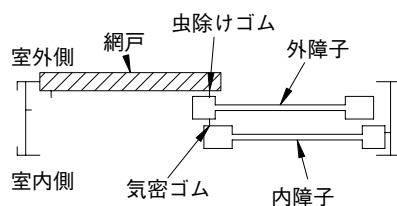
内観図
(網戸使用状態)

網戸の正しい使い方

網戸は使用条件により防虫効果が異なりますので、次の事項をご理解の上正しくご使用ください。

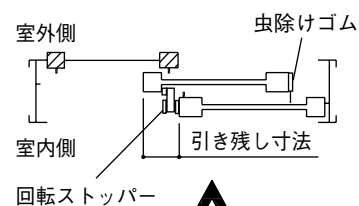
①窓を全開にしてご使用になる場合

左右どちらの窓を開放しても網戸は効果を発揮します。



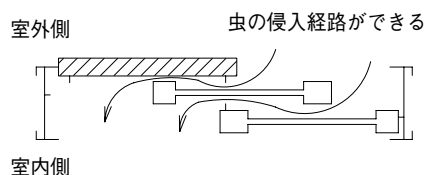
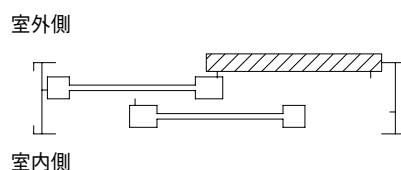
特別仕様で外障子の引き残し寸法が大きい場合または回転ストッパーが取り付けられている時などは、外障子側でご使用になる場合に防虫効果が十分発揮されなくなります。

※回転ストッパーの取扱い方法は、P.15の 回転ストッパーをご確認ください。



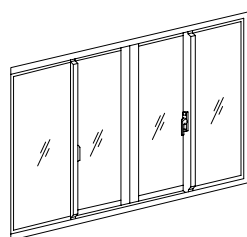
②片側の窓を中途半端に開放してご使用になる場合

内観右側の窓を開放する場合は網戸は効果を発揮しますが、内観左側の窓を開放する場合は防虫効果が十分発揮されなくなります。(大型の引き手などが取り付けられた場合も同様の事象が発生します)

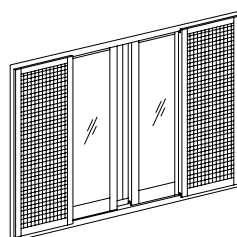


四枚建て窓用網戸について

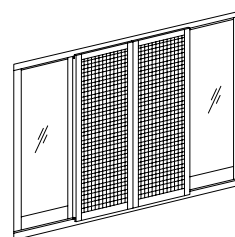
四枚建て窓・戸用網戸は左右端、または中央突き合わせでご使用ください。
四枚建て窓・戸用網戸の使用方法是下記のとおりになります。



内観図



外観図
(左右端使用時)

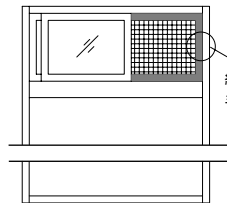


外観図
(中央使用時)

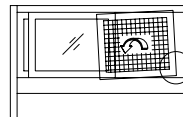
欄間網戸の操作方法について

欄間網戸をご使用になる場合は、下記事項に注意して操作をしてください。

- ① 網戸を操作するときは、たて枠の中央に近い位置に手を掛け、水平にスライドしてください。



縦枠の中央付近に手を掛けスライド



縦枠の下側に手を掛けてスライドさせると網戸が持ち上がり網戸の脱輪や落下の危険性があります

△ 注 意

- ① 網戸開閉時網戸を押し上げながら作動しないでください。網戸がレールから脱輪または窓枠から脱落する危険性があります。

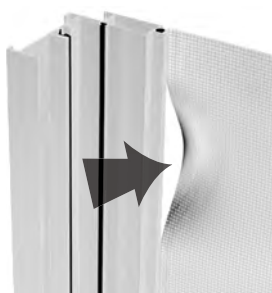
可動網戸取り扱い上の注意

お 願 い

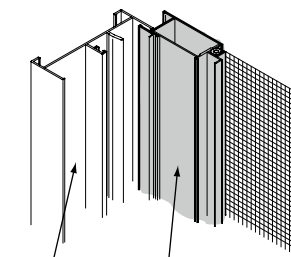
開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故（人損・物損）につながります。
 網戸によりかかったり、押ししたりしないでください。網がはずれて、窓から人が落ちると事故（人損・物損）につながります。
 網の片側より強く押さえないでください。網がはずれたり、破れたりします。
 網には火気を近づけないでください。

■ 網戸の操作について

網戸操作時に網の部分をつまみ押ししたり手を掛けたりすると、網が抜けることがありますので、網戸操作時は網に触れずに戸先枠に手をかけて操作をしてください。



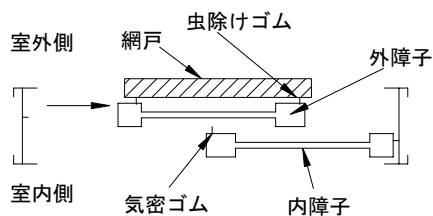
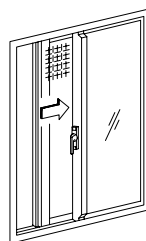
網が抜ける場合があります



たて枠 戸先枠

■ 網戸の作動について

サッシの外障子を作動する時に網戸と一緒に動いてしまう場合がありますが、これは製作精度の関係で虫除けゴムが外障子に強めに当たり防虫効果が高い時に発生します。この時に網戸をご使用になる場合は、外障子開放後、網戸を引き出してご使用ください。



はずれ止め金具

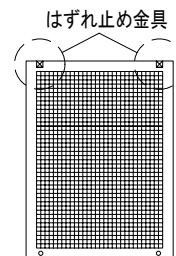
網戸の脱落を防止する金具で、網戸の上かまちの両端に取り付けられています。

■ 網戸の取りはずしとはずれ止め金具の調整方法

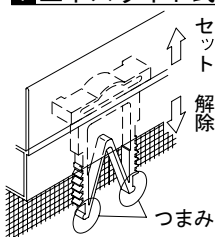
- ① 網戸をはずす時は、はずれ止め金具を解除して網戸を持ち上げ、網戸の下部を室外側へ振り出してください。
- ② はずれ止め金具は、商品により使用方法が異なりますので、下記の中から該当するはずれ止めを確認の上ご使用ください。

△ 注 意

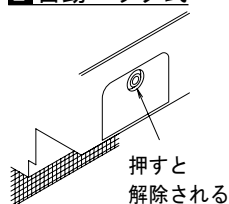
- ① お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、はずれ止め金具を必ずかけてください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、事故（人損・物損）につながるおそれがあります。



1 上下スライド式



2 自動ロック式



③ はずれ止め金具の調整方法

- ・ 1 の上下スライド式は○部ツマミをつまんで上にスライドさせ上枠に当たったところで手を離すとはずれ止めがセットされます。
- ・ 2 の自動ロック式は、網戸を取り付けると自動的にはずれ止めがセットされます。

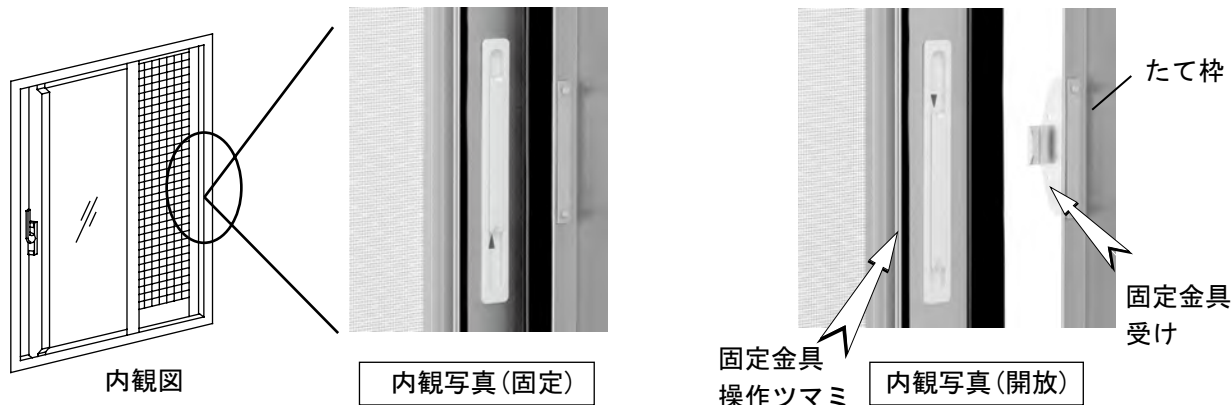
（金具の◎ボタンをドライバーで押すと解除されます）

強風対策網戸固定金具(オプション)

高層住宅などの網戸が突風・強風により、激しく網戸が作動し破損したり外れたりすることを防止するために取り付けられています。固定金具は切替式と固定式の2種類あり、それぞれの操作は本説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。

切替式

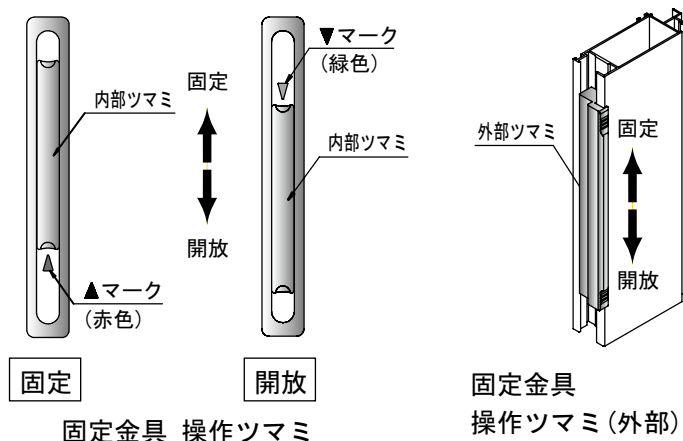
切替式は網戸の枠側たて枠に取り付けられているスライド式のロック機構で網戸の固定と開放を操作します。通常は突然の風に備えて、固定金具を掛けた状態にして使用していただき、網戸の開閉時にロックを外して網戸操作をしてください。



■ 操作手順

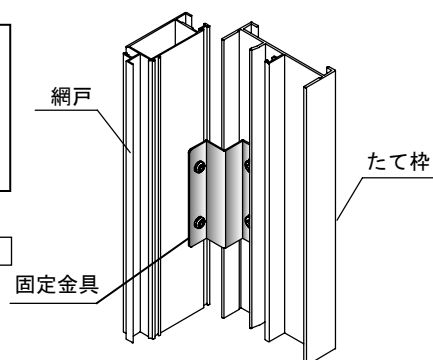
網戸を作動する時は下記の手順にて操作をおこなってください。

- ① 操作ツマミを下にスライドさせると網戸の固定が解除されます。
- ② 網戸のロックが解除されたら網戸の開閉をすることができます。
- ③ 網戸の開閉操作が終了したら網戸を固定たて枠側にスライドして、操作ツマミを上スライドすると網戸が固定されます。



お願い

網戸固定を開放して窓の出入りをおこなう場合は、たて枠に取り付けられている固定金具受けにぶつからないよう注意してください。思わぬけがにつながる可能性があります。



固定式

固定式はサッシのたて枠と網戸をねじで固定しています。固定ねじを外さないようにしてください。

お願い

固定式の網戸固定金具の固定ねじを外して使用しないでください。強風時に網戸があおられて網戸の破損や脱落につながり、事故やけがにつながる可能性があります。

開閉操作は、ゆっくりおこなってください。

急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

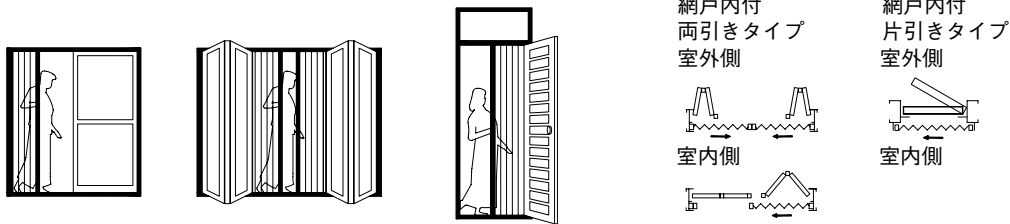
網戸の開閉操作後は、必ず固定金具をロックさせて網戸を動かないように固定してください。突風にあおられ網戸が急激に動き、網戸の破損や脱落につながる可能性があります。

- ☐ プリーツ一体サッシ ☐ 後付けプリーツ網戸
☐ 全開口サッシ ☐ 後付けプリーツ網戸Ⅱ型

プリーツ網戸の取扱い

商品バリエーション

プリーツ網戸は、必要な時だけ網戸を引出して使用し、使わない時にはサッシ枠・障子にすっきり収納できる網戸です。

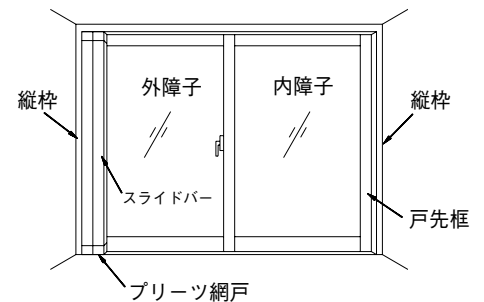


プリーツ網戸商品群は、下記の通りに分類されます。各タイプにより注意事項が異なる場合がありますのでご確認の上使用上の注意に留意してください。

- ①両引きタイプ … 開き窓などの外に開く窓、ドア用・全開口サッシ用・後付け型
 ②片引きタイプ … 開き窓などの外に開く窓、ドア用・後付け型

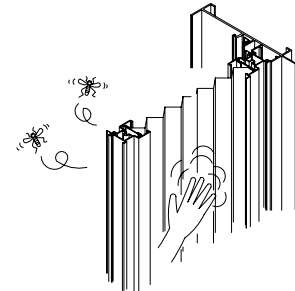
網戸操作上の注意

1. 網戸の操作はスライドバーの中央付近に手をかけて開閉してください。操作する位置により作動が重くなることがあります。
2. 網戸収納時には網が確実に折りたたまれたことを確認してください。確実に折りたたまれない場合は網にくせが付き、折りたたみに不具合が発生することがあります。



使用上の注意

1. 網戸収納時、網に虫がついている場合は網を軽くたたいて虫を払ってから網戸を収納してください。
2. 本商品は、日常生活において網の汚れを極力抑えるために網戸を室内側に設置しております。そのため網戸収納時に一時窓が開放状態になり、虫が進入する可能性があります。
3. 網戸使用時に強い風を受けた時、網の上下部に多少の隙間が発生することがありますが、防虫性能上大きな問題はありません。



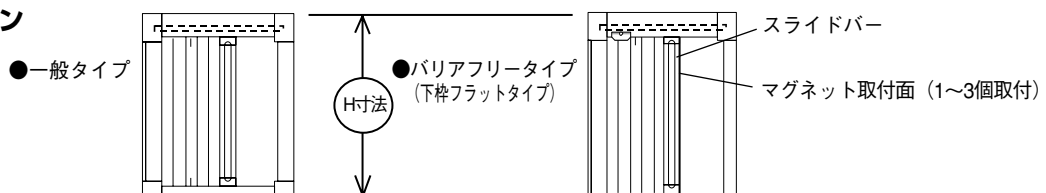
お願い

開閉操作はゆっくりおこなってください。特に風の強い時は網がふくらんでいることがあります。
 無理な操作は網の破損の原因となります。
 風の強い時、使用しない時は網戸を収納してください。
 網戸には、よりかかったり押したりしないでください。
 網には火気を近づけないでください。
 網戸レールにゴミ・砂等が入った時は、すみやかに清掃してください。

プリーツ網戸Ⅱ型 後付け・開き窓系一体型・全開口サッシ一体型取扱いについて

“プリーツ網戸
 また、Ⅱ型は2タイプの商品バリエーションがあります。

商品パターン



マグネットについて

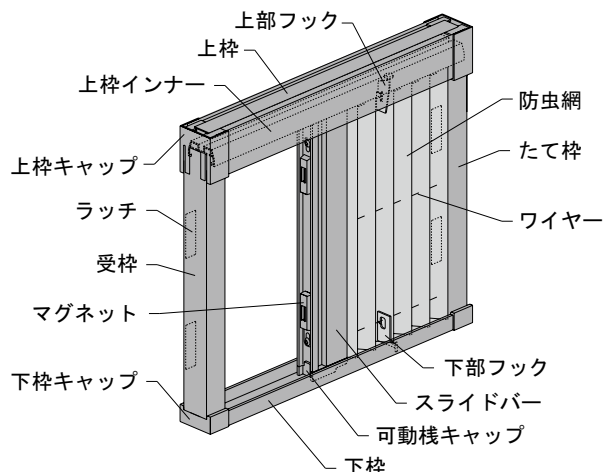
プリーツ網戸Ⅱ型には、従来品より突風などの風対策を向上させるために、スライドバーにマグネットを設置し網戸が突風などでも開きにくいようにしています。(取付個数1~3個)

■ プリーツ網戸Ⅲ型の取扱い

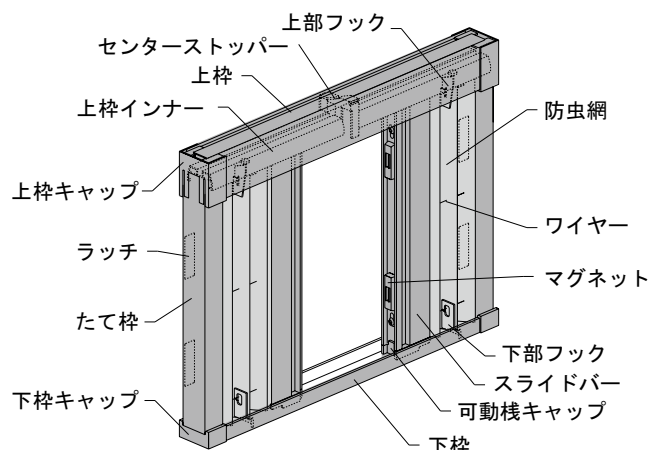
プリーツ網戸は、必要な時だけ網戸を引出して使用し、使わない時にはサッシ枠・障子にすっきり収納できる網戸です。ご使用の際には本書を良くお読みになり正しくご使用願います。

商品バリエーション及び各部名称

■ 片引き

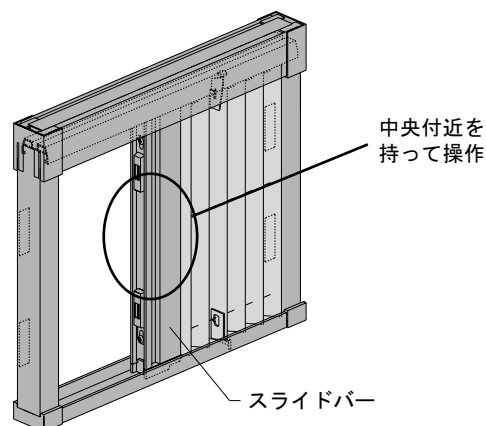


■ 両引き



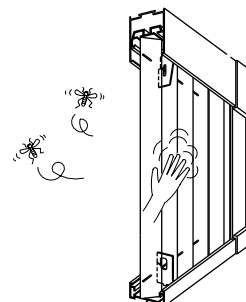
網戸操作上の注意

1. 網戸の操作はスライドバーの中央付近に手をかけて開閉してください。操作する位置により作動が重くなることがあります。
2. 網戸収納時には網が確実に折りたたまれたことを確認してください。確実に折りたたまれない場合は網にくせが付き、折りたたみに不具合が発生することがあります。



使用上の注意

1. 網戸収納時、網に虫がついている場合は網を軽くたたいて虫を網から払って網戸を収納してください。
2. 網戸レールに強い衝撃を与えたり、硬いモノをぶつけたりしないでください。レールが変形して網戸の作動が悪くなる場合があります。
3. スライドバーに把手や錠をねじ止めしないでください。ねじがワイヤーや網を破損させ網戸が正常に作動しなくなる可能性があります。



お願い

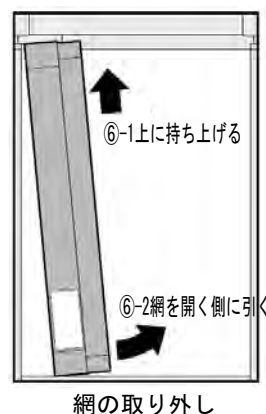
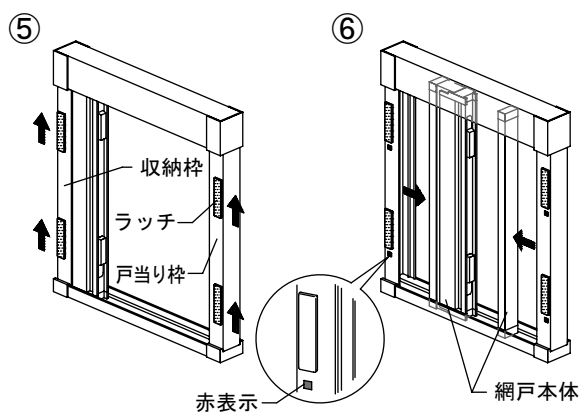
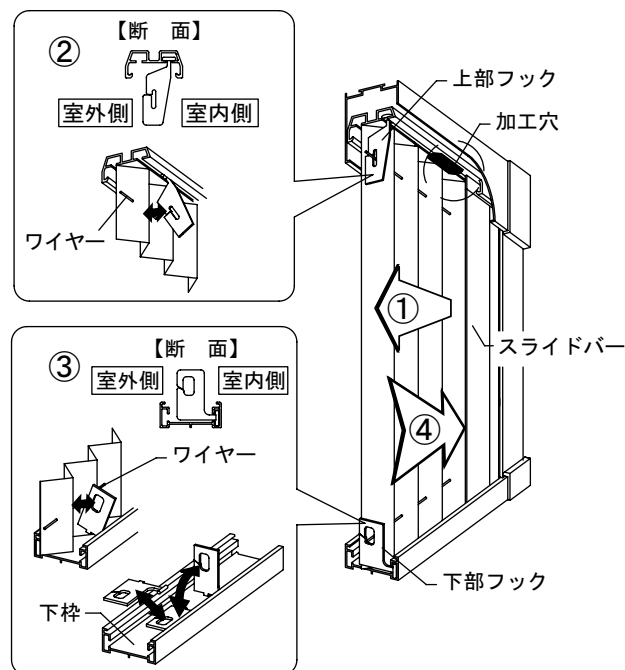
開閉操作はゆっくりおこなってください。特に風の強い時は網がふくらんでいることがあります。無理な操作は網の破損の原因となります。
風の強い時、使用しない時は網戸を収納してください。
網戸には、よりかかったり押したりしないでください。
網には火気を近づけないでください。
網戸レールにゴミ・砂等が入った時は、すみやかに清掃してください。
油などの潤滑剤は使用しないでください。ほこりや砂が付着しやすくなり、動かなくなる場合があります。

網戸の取り外し・取り付け手順

本製品は、清掃メンテナンス時に網が取り外せる構造になっています。取り外し・取り付け作業はけがなどしないように注意しておこなってください。

■網の取り外し

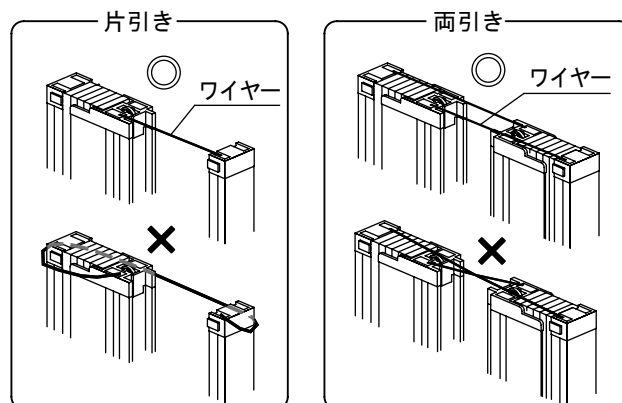
- ① スライドバーを引き出し網戸を使用状態にしてください。
- ② 上部フックをワイヤーからはずし、スライドバー付近にある加工穴から抜いてください。
- ③ 下部フックをワイヤーからはずし図のように下枠から抜いてください。
- ④ 上下フックを外したら一度網を閉じてください。
- ⑤ 収納枠・戸当り枠の側面についているラッチツマミを上にもスライドさせて、ロックを解除してください。
※ラッチツマミ下の赤表示が見えている状態が、ロック解除状態です。
- ⑥ 収納枠、戸当り枠から網戸本体をはずしてください。



網の取り外し

■網の取り付け

- ① 取り外した網を再度取り付ける前に網の上下から出ているワイヤーにねじれやカラムがないことを確認してください。ねじれたまま取り付けると開閉に支障をきたす恐れがあります。
- ② 網の取り付け手順は『網の取り外し』の逆手順でおこなってください。



お願い

取り付け後、収納枠及び戸当り枠の赤表示がラッチツマミに隠れていること、また網を引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。網が外れたままになっていると脱落する恐れがあります。

網戸の調整方法

建て付けが“悪く”なった場合には、下記の状況に応じてワイヤーの調整をおこなってください。

■片引きの調整方法

- ① 戸当り枠のカバーをマイナスドライバー等ではずしてください。
- ② 戸当り枠に固定してある調整ねじを、下記の各状況に応じて位置を移動させて調整します。

【ワイヤーにたるみが出てガタつく場合】

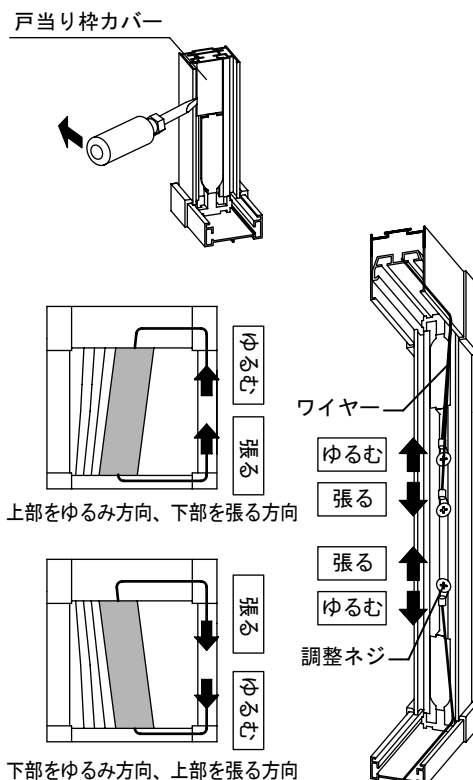
全てのねじを張る方向に少しずらして固定します。

【開閉が重い場合】

全てのねじをゆるむ方向に少しずらして固定します。

【スライドバーが斜めになる場合】

全てのねじを同一方向に移動しバランスをとってください。



■両引きの調整方法

左右の網戸の調整は連動していませんので、片側ずつ調整をおこなってください。

- 収納枠内に固定してある調整ねじを、下記の各状況に応じて位置を移動させて調整します。

【ワイヤーにたるみが出てガタつく場合】

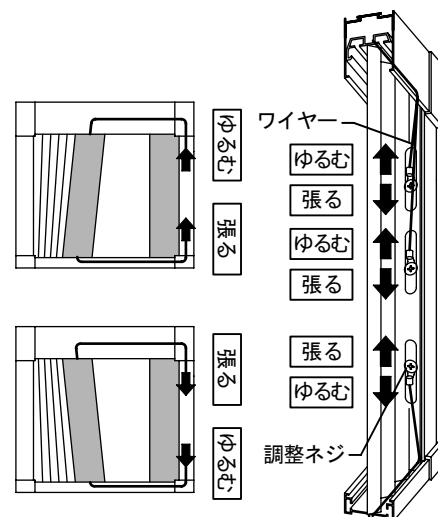
全てのねじを張る方向に少しずらして固定します。

【開閉が重い場合】

全てのねじをゆるむ方向に少しずらして固定します。

【スライドバーが斜めになる場合】

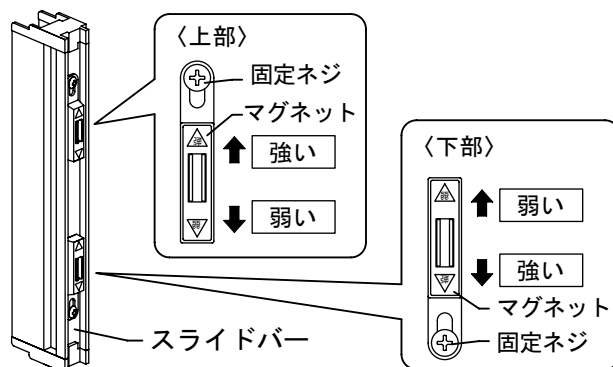
全てのねじを同一方向に移動しバランスをとってください。



■マグネットの調整方法

本製品は開放補助として網戸使用时マグネットを使用しています。
網戸が風などで開いてしまう場合や、開く力が非常に重い場合にマグネットの強さを調整することができます。

- スライドバーの上下に付いているマグネットの固定ねじをゆるめ、上下に移動させてください。マグネットとマグネット受けの当たる面積が変わり固定強度が変化します。



網の交換について

網を破損又は経年劣化でご使用できなくなった場合、網の張り替えは通常の網戸のようにはできません。網ユニットの交換になります。

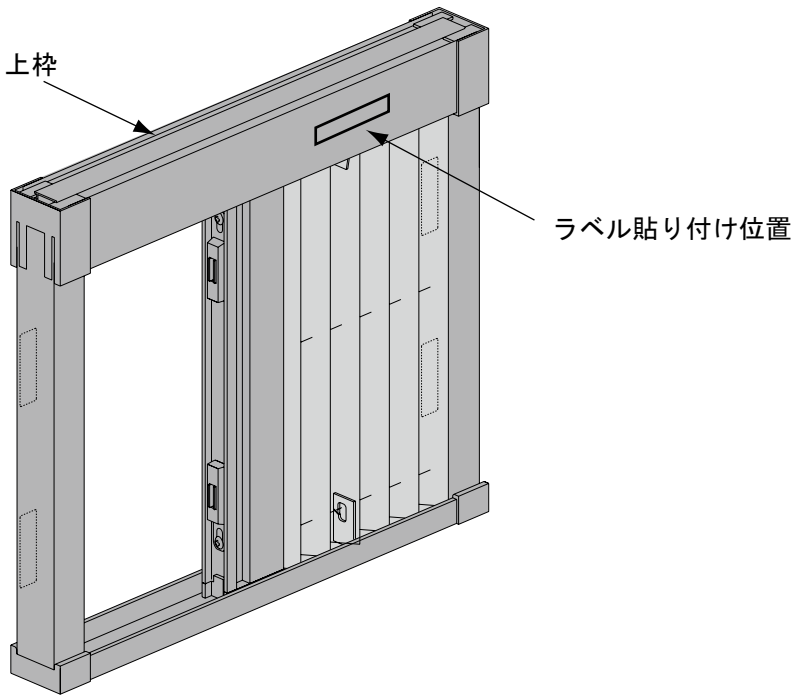
網ユニットの交換手順は清掃時の網の取り外しと同じ方法です。網戸取り外し・取り付け手順のページを参照して交換をおこなってください。

交換用の網ユニットのご注文は網戸に貼り付けてある製品ラベルの記載内容をお近くの弊社拠点メンテナンス窓口へご連絡ください。また、取付交換のご相談も承っています。お問い合わせください。

■製品ラベルについて

製品ラベルはプリーツ網戸の上枠のメーカーラベル貼り付け面と反対側に貼り付けられています。

清掃などでラベルが剥がれたり刻印番号が消えたりする恐れもありますので、ラベル番号を控えておくことをお勧めします。



The diagram shows a rectangular label with the following fields and labels:

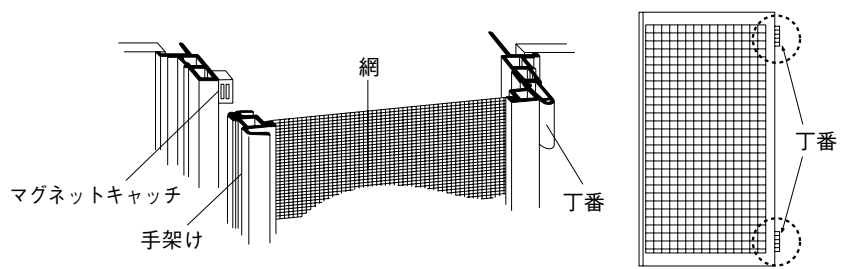
- 製品名称** (Product Name): Indicated by an arrow pointing to the top left section of the label.
- 品種・タイプ記号** (Product Type/Model Number): Indicated by an arrow pointing to the top right section of the label.
- 受注No.** (Order Number): Indicated by an arrow pointing to the bottom left section of the label.
- 製品寸法** (Product Dimensions): Indicated by an arrow pointing to the bottom middle section of the label, which includes the text "W" and "H" followed by circles for dimensions.
- ロットNo.(製造番号)** (Lot Number (Manufacturing Number)): Indicated by an arrow pointing to the bottom right section of the label.

開き網戸の取扱い

網戸の操作

この網戸は、外部側窓の開閉操作のために開き網戸になっています。網戸は、吊元側は丁番で、施錠側はマグネットキャッチで固定されています。

マグネットキャッチは引き渡し時に調整しておりますが、使用中にねじがゆるみマグネットの吸着力が変わる場合もありますので、その時はマグネットキャッチの取り付けねじを締め直してください。



お願い

風の強い時は、外側の窓を必ず閉めてください。風で網戸が開くと思わぬ事故やけがにつながります。

開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。

網戸によりかかったり、押したりしないでください。網がはずれて、窓から人が落ちると事故（人損・物損）につながります。

網の片側より強く押さえないでください。網がはずれたり、破れたりします。

網には火気を近づけないでください。

☐内倒し窓 ☐内開き窓

固定網戸の取扱い

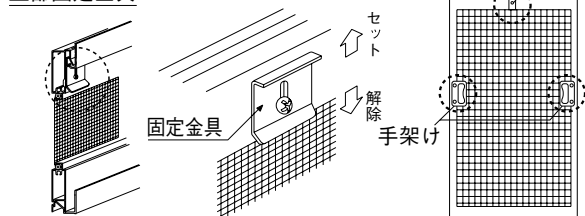
（外部取付）

上部固定金具

網戸の脱落を防止する金具で、網戸の上枠に取り付けられています。（網戸寸法により1または2個取り付けられています）引き渡し時に調整しております。

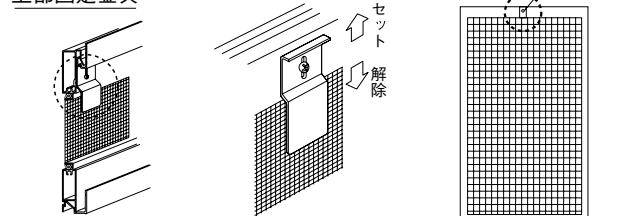
■内開き窓用

上部固定金具



■内倒し窓

上部固定金具



■上部固定金具の点検・調整

- ・点検…網戸を上を持ち上げて、網戸が上に持ち上がる場合は、固定金具が機能していません。
- ・調整…固定金具のねじをゆるめ、固定金具が上枠に当たるまで上に押し上げてからねじを締めつけてください。

お願い

網戸によりかかったり、押したりしないでください。網がはずれて、窓から人が落ちると事故（人損・物損）につながります。

網の片側より強く押さえないでください。網がはずれたり、破れたりします。

網には火気を近づけないでください。

△注意

- ① 上部固定金具は定期的に点検をして固定金具が正しく機能していることを確認してください。また、網戸を清掃などで取り外した場合は、網戸取り付け後確実に固定金具をセットしてください。固定金具が機能していないと、強風などにあおられ網戸が脱落し、思わぬ事故やけがにつながる恐れがあります。

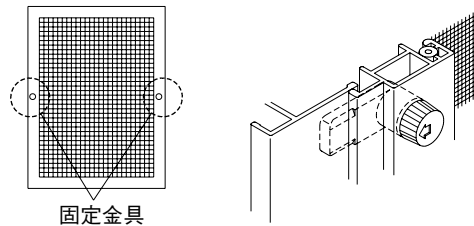
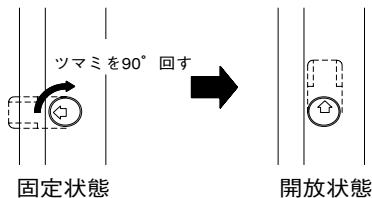
■ 固定網戸の取扱い (室内側取付)

網戸の取り外し

- ① 網戸を持ち上げ、網戸下部を室内側へ引いてください。
- ② 網戸を取り付ける時は、上記と逆の操作をおこなってください。

■ 固定金具付きの場合 (高さ寸法1000mm以上)

- ① 固定金具のツマミを90° 回転しロックを解除してください。
- ② 網戸を持ち上げ、網戸下部を室内側へ引いてください。
- ③ 網戸を取り付ける時は、上記と逆の操作をおこなってください。



お願い

網戸によりかかったり、押したりしないでください。網がはずれて、窓から人が落ちると事故（人損・物損）につながります。
網の片側より強く押さえないでください。網がはずれたり、破れたりします。
網には火気を近づけないでください。
網戸をメンテナンスし再取付した時は必ず固定金具をセットしてください。

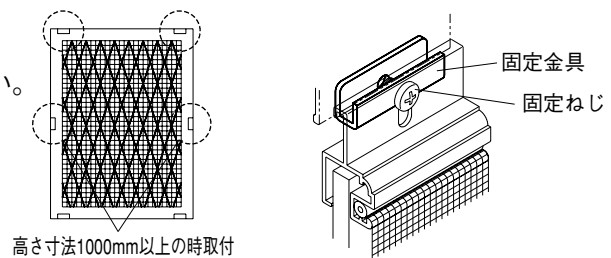
■ 面格子付固定網戸の取扱い (室内側取付)

網戸の取り外し

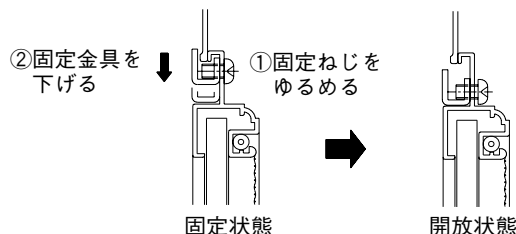
- ① 固定金具の固定ねじをゆるめ金具を網側へ引きます。
- ② 網戸を持ち上げ、網戸下部を室内側へ引いてください。
- ③ 網戸を取付ける時は、上記と逆の操作をおこなってください。

お願い

網戸によりかかったり、押したりしないでください。網がはずれて、窓から人が落ちると事故（人損・物損）につながります。
網の片側より強く押さえないでください。
網がはずれたり、破れたりします。
網には火気を近づけないでください。
網戸をメンテナンスし再取付した時は、必ず固定金具をセットしてください。



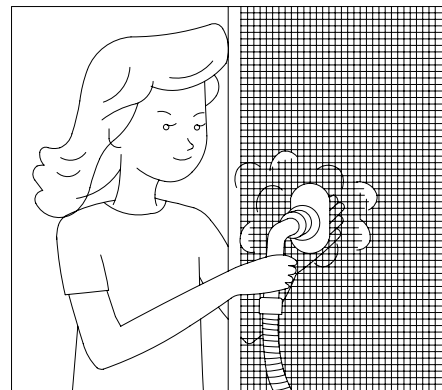
高さ寸法1000mm以上の時取付



■ 網戸のお手入れについて

網戸のお手入れ

1. 網戸の両側から水を含ませた柔らかい布やスポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落してください。
2. 電気掃除機をお使いの場合は、ブラシのついた吸込み口を取付けて軽くこするようにしてお使いください。
3. 汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布やスポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落してください。
汚れが落ちたら水を含ませた布やスポンジなどでふきとってください。



■ ステンレス網戸をお使いの場合は

ステンレス製網戸は、排気ガス・塩害などの環境により、ステンレス網やステンレス網戸と接触する型材が腐食する場合がありますので、定期的な清掃（中性洗剤＋水洗い）をおこなってください。特に海岸近接地域や煤塵の発生が多い地域は汚れの程度により、月に1回程度を目安として清掃をお願いいたします。

網戸は普段からのこまめなお手入れが大切です。網についた汚れは定期的にはこりをはらうだけできれいに長くお使いいただくことができます。日常からのお手入れが大切になりますので本説明書の記載事項をよくお読みになりご使用願いますようお願いいたします。

■お手入れの方法について

網戸のお手入れは汚れの程度によって右表のような方法でこなうと効果的にこなえます。詳細は下記を参照してください。

	網の汚れ具合	お手入れ方法
①	ほこりのみの軽微な汚れ	刷毛（はけ）によるほこり払い 掃除機によるほこりの吸い込み
②	綿ほこりなどによる著しい汚れ	刷毛＋網戸用洗浄剤（もしくは中性洗剤）
③	油汚れ	網戸用洗浄剤

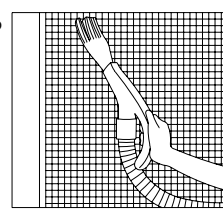
①ほこりのみの軽微な汚れ（日常のお手入れ）

1. 網戸を開いて、刷毛やブラシ付きノズルを取付けた電気掃除機を使用して、縦方向に網の折り目にそって動かし、ほこりを落とします。
2. 電気掃除機をお使いの場合は、ブラシのついた吸込み口を取付て軽くこするようしてお使いください。

刷毛による清掃



掃除機による清掃

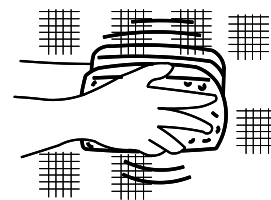


②綿ほこりなどによる著しい汚れ（目詰まりを起こしているような状態）

1. 網戸を開いて、刷毛やブラシ付きノズルを取付けた電気掃除機を使用して、縦方向に網の折り目にそって動かし、ほこりを落とします。
2. ほこりを落としたら、次に網戸専用洗浄スプレーを吹きかけます。この時、裏側に新聞紙や雑巾などをあてておくと効果的に吹き付けられます。網戸専用スプレーが無い時は、中性洗剤を希釈したものをスポンジなどに吸い込ませて両側から押さえるようにして、網に洗剤を塗りつけてください。
3. 洗剤をつけたら数分間（3分位）放置します、水を付けたスポンジなどで汚れと洗剤成分を良く落とします。汚れを落としたら、乾いた雑巾などで水分を拭き取ります。ある程度水分を拭き取ったら乾燥するまで網戸を開いた状態にして、網戸の乾燥後、収納します。



スプレー吹き付け



スポンジによる清掃

③油汚れの場合

1. 油汚れの場合は、ほこりをはらい取ることができないので、網戸用洗浄スプレー又は洗剤にて汚れを浮き立たせます。（綿ほこりなどによる著しい汚れ参照）
2. 洗剤をつけたら数分間（3分位）放置して汚れを浮き立たせて、水をつけたスポンジなどで汚れを吸い取ります。
3. 最後に乾いた雑巾などで水分を拭き取り、乾燥するまで網戸を開いた状態にして、網戸の乾燥後、収納します。

お願い

清掃時は、ほこりが舞いますので十分な換気と、周囲の養生をしてから清掃を開始してください。

また、清掃時はマスクなどの着用をしてください。

網戸専用洗浄スプレーをご使用の際は、スプレー缶にも記載してある注意書きをよくお読みになりご使用ください。洗剤成分が残った場合、洗剤によりサッシが変色する場合があります。

清掃の際、網戸を強く擦らないようにしてください。網の破損の原因となることがあります。

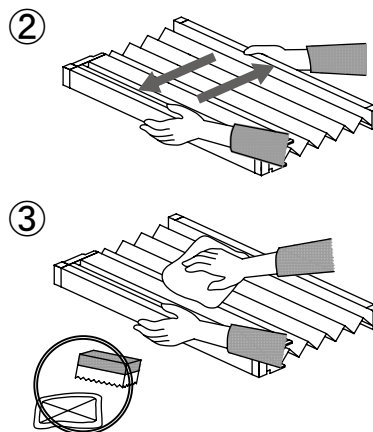
網戸のお手入れ方法(プリーツ網戸Ⅲ型のみ)

プリーツ網戸Ⅲ型は従来のプリーツ網戸と異なり汚れが激しい時などに網本体を取り外して清掃することができます。取り外し手順はP40を参照してください。通常のお手入れは前項の網戸のお手入れをご参照ください。

1. 著しい汚れ（目詰まりを起こしているような状態）

（網戸を外して清掃します）

- ① 網戸を開いて、刷毛やブラシ付きノズルを取付けた電気掃除機を使用して、縦方向に網の折り目にそって動かし、ほこりを落とします。
- ② ほこりを落としたら網戸を取り外し、平らな広い場所に広げて置いてください。
網戸の取り外し方法は次ページ網戸の取り外し・取り付けの方法を参照の上、取り外してください。
- ③ 中性洗剤をぬるま湯で溶かして、柔らかい布、またはスポンジで洗ってください。次に洗剤が残らないように水洗いし、必ずから拭きしてください。
- ④ 網の清掃後網を元の状態に取り付け直してください。（取り付け手順参照）



お願い

たわし、金属ブラシなどで、ネット部分、アルミ枠をこすらないでください。破損やキズの原因になります。
変色・変質の原因となりますので、お手入れの際には、シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、酸性・アルカリ性洗剤などは使用しないでください。



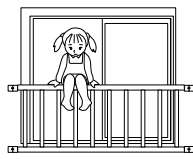
禁止



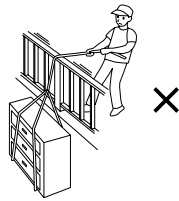
□手すり

■ 手すりの取扱い

■安全のため、下記の事項は必ずお守りください。

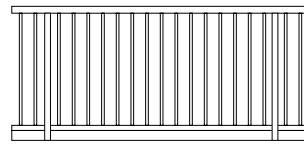


×

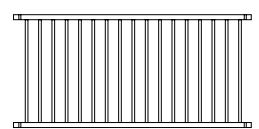


×

バルコニー手すり

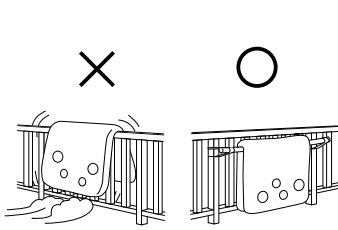


窓手すり



▲ 注 意

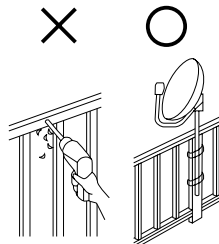
- 手すりの上に乗ったり、身を乗り出したりしないでください。思わぬ事故やけがにつながります。
- 手すりにロープを掛けて、荷物の上げ下げをしないでください。手すりが破損し思わぬ事故やけがにつながります。
- 手すりの廻りに踏み台になるようなものを置かないでください。思わぬ事故やけがにつながる可能性があります。



×

○

図-1



×

○

図-2

※支柱以外は
取付け不可



×

図-3

お 願 い

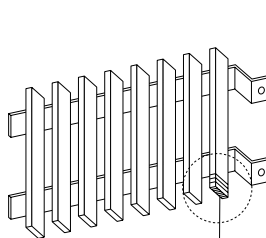
布団を干す場合は、専用の布団干し（市販品）を使用してください。
布団を手すりに直接掛けると、風にあおられて落下する恐れがあります。（図-1）

手すり本体には穴をあけないでください。
パラボラアンテナなど、他の器具を手すりに取り付ける場合には、穴をあける必要のない金具を使って支柱に取り付けてください。（図-2）
ボルト・ナット・ねじなどは、決してゆるめないでください。
手すりが外れる恐れがあります。（図-3）

□面格子

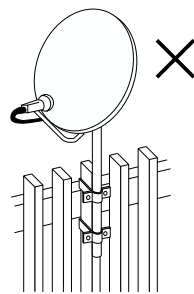
■ 面格子の取扱い

■安全のため、下記の事項は必ずお守りください。



塞板がはずれて危ないとき、
端部にテープを巻く

図-1



×

図-2

▲ 注 意

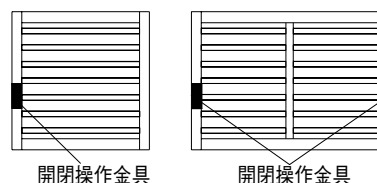
- 人が乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
面格子が落下したりすると、事故やけがにつながります。

お 願 い

面格子本体には穴をあけないでください。
パラボラアンテナなど、他の器具を面格子に取付けたりしないでください。（図-2）
ボルト・ナット・ねじなどは、決してゆるめないでください。面格子がはずれる恐れがあります。
（ゆるんでいる場合は、締め直すか、またはメーカーの担当窓口へご連絡ください）
面格子端部のふさぎ板がはずれて、ぶつかるおそれがあるような場合は、早めにメーカーの担当窓口へご連絡ください。応急処置の方法としては、人が接触するようなところではテープなどを巻いておくなどの方法があります。（図-1）

可動ルーバー面格子の取扱い

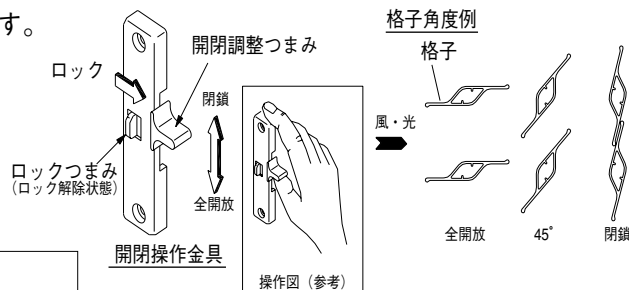
この商品は、従来面格子の持つ防犯性に加え、格子の角度を調整することにより採光・採風の調整を可能にした面格子です。必ずご使用前にこの説明書をお読みになり正しくお使いください。



格子の開閉

下記の操作手順で面格子の角度を調整することができます。

- ①開閉操作金具のロックつまみを枠側にスライドしロックを解除します。
- ②開閉調整つまみを上下に操作し格子の開閉をおこないます。
- ③希望の位置で開閉操作金具のロックつまみを矢印方向に操作しロックします。



△ 注意

- ⊙ 人が乗ったり、ぶら下がったりしないでください。面格子が落下したりすると、事故やけがにつながります。

お願い

ねじは、決してゆるめないでください。面格子がはずれる恐れがあります。
(ゆるんでいる場合は、締め直すか、またはメーカーへご連絡ください)
面格子端部のふさがり板がはずれて、ぶつかるとうけがの恐れがあるような場合は、早めにメーカーの担当窓口へご連絡ください。
応急処置の方法としては、人が接触するようなところではテープなどを巻いておくなどの方法があります。

マンション門扉の取扱い

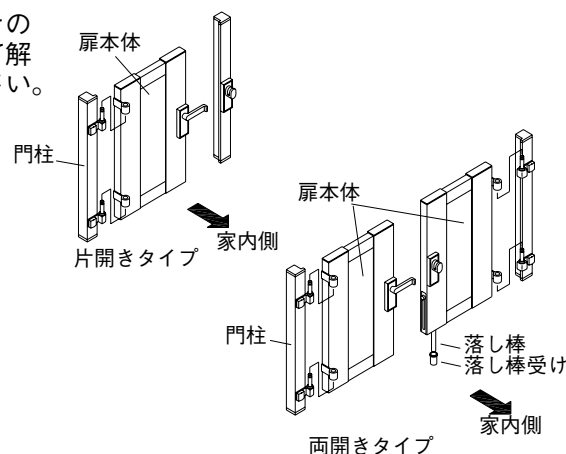
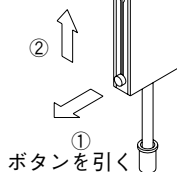
門扉は大きさ・デザインが違っていても、機能的に見ると、その使い方は同じです。この取扱説明書では代表的機種を例として解説しています。この取扱説明書を良く読み正しくご使用ください。

格子の開閉

■落とし棒の解錠手順

- ①扉下部落とし棒のボタンを引く
 - ②落とし棒のボタンを引いたまま上へ引き上げる。
 - ③一番上まで引き上げたらボタンをセットすると落とし棒が上がった状態で固定されます。
- 落とし棒を施錠する場合は上記と逆の手順で施錠してください。

ボタンを引いたまま上へあげる



△ 注意

- ⊙ 扉をゆすったり、扉に乗ったり、寄りかかったり、物を載せたりしないでください。落下してけがをしたり、商品が破損する恐れがあります。

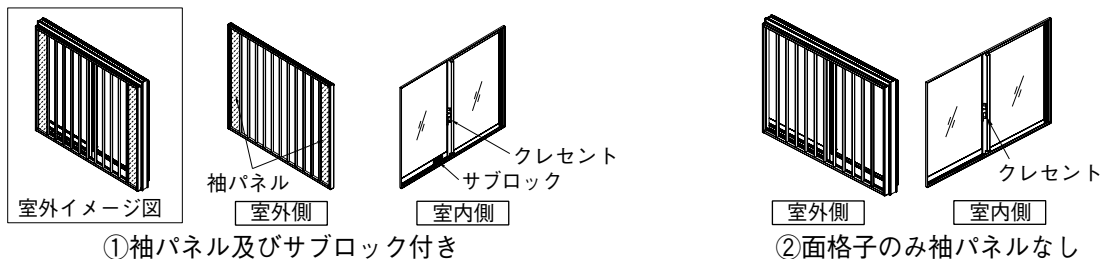
お願い

開閉操作はゆっくりおこなってください。無理な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
施錠時は、最後まで確実に操作してください。確実に施錠されていない状態で開閉操作をおこなうと、鍵が破損したり商品に傷が付くことがあります。
開閉時には手足・衣服などをはさまないように気を付けてください。
通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落とし棒の付いている商品は落とし棒も同時に落としてください。
ねじやボルト等にゆるみが生じていないか、年一回は必ず点検してください。

■ 通風面格子付きサッシの取扱い

この商品は、従来面格子の持つ防犯性に加え、通風機能換気機能を取り入れた商品です。
必ずご使用前にこの説明書をお読みにになり正しくお使いください。
また、サッシ本体の取扱いについては引違い窓の項目をご参照願います。

通風面格子のバリエーション



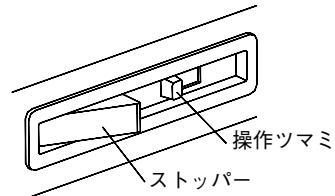
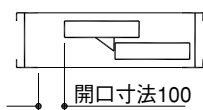
①袖パネル及びサブロック付き

②面格子のみ袖パネルなし

サブロック

サブロックは窓の開放を制限する金具です。袖パネル付き面格子と組み合わせて使用することにより防犯性を保ちつつ換気をおこなうことができます。下記の手順にてご使用ください。

- ①通常使用時はサブロックの操作ツマミを閉の状態にしてストッパーが飛び出した状態で使用してください。
- ②窓を全開放したい場合は、操作ツマミを開の状態にすることでストッパーが障子内に引っ込み全開放することができます。



お願い

普段は、防犯上サブロック操作ツマミを“閉”にしてストッパーが戻らないようにして使用してください。
サブロック操作ツマミを操作する時は、窓を閉めてクレセントをロックしてからおこなってください。
窓の思わぬ開閉により指や手を挟み、思わぬ事故やけがにつながります。

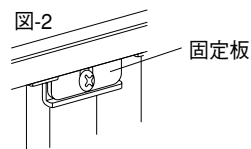
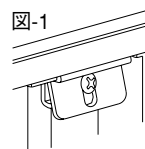
面格子について

取り外しを可能にするために通常の固定型の面格子と比較して、面格子本体を持って動かした場合若干のガタツキがありますが、これは取り外しのための余裕寸法によるもので、性能機能的に問題となるものではありません。

面格子の取り外し・取り付け

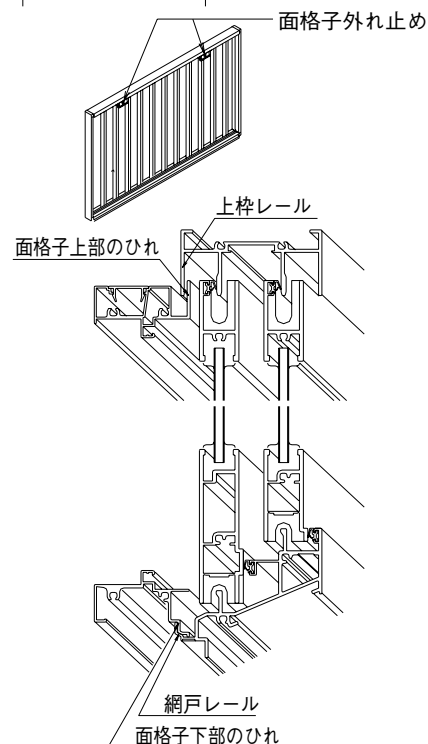
1. 取り外し操作

- ①面格子上部に取り付けられているはずれ止め金具（上部2箇所）のねじをドライバーでゆるめて固定板をずらしてください。（図-1・2）
- ②室外側から面格子を両手で持って、持ち上げ外部側に取り外してください。



2. 取り付け操作

- ①面格子上部のひれを上枠レールにはめ込み、面格子を下げながら面格子下部のひれを網戸レールにはめ込んでください。
- ②面格子はずれ止め金具を図-2の状態にして固定ねじを締め付けてください。
- ③最後に面格子を持ち上げて面格子が外れないことを確認してください。



△ 注意

- ⊙ 人が乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
面格子が落下したりすると、事故やけがにつながります。
- ❗ 面格子を取り付け後、面格子はずれ止め金具を必ず固定してください。はずれ止め金具が掛かっていないと面格子が外れ、事故やけがにつながります。

お願い

面格子本体には穴をあけないでください。
パラボラアンテナなど、他の器具を面格子に取り付けたりしないでください。（図-3）

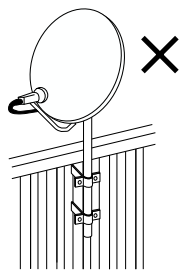


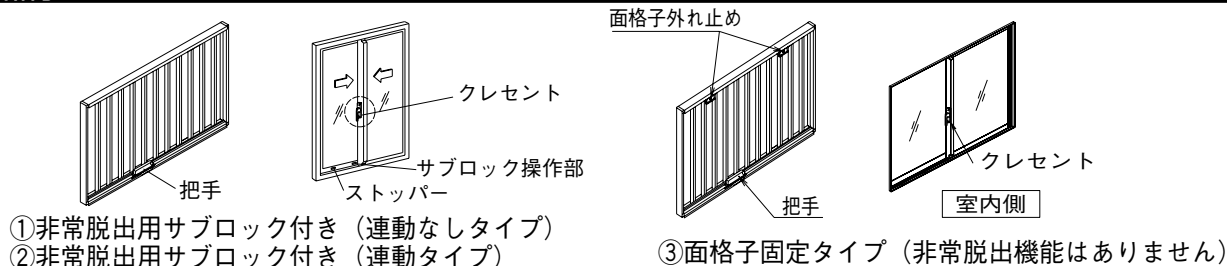
図-3

- ☐FNS-70面格子付きサッシ ☐FNS-70AT面格子付きサッシ
☐FNS-70EAT面格子付きサッシ ☐FNS-70P面格子付きサッシ

■ 非常脱出面格子付きサッシの取扱い

この商品は、非常時に面格子を室内側から取り外して窓から脱出できるようにしています。（一部商品対象外）必ずご使用前にこの取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。また、1年に1度は面格子の取り外し手順を確認してください。サッシ本体の取扱いは引違い窓の項目をご参照願います。

面格子のバリエーション

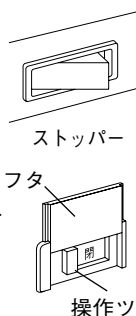


サブロック

サブロックは窓の開放を制限する金具です。下記の手順にてご使用ください。

1. 操作ツマミ連動なしタイプ

- ①通常使用時はサブロックの操作ツマミを閉の状態にしてください。ストッパーが飛び出した状態でロックされます。
- ②非常時または窓を全開放にしたい場合は、サブロック操作部のフタを上スライドさせ、操作ツマミを開の状態にします。
- ③ストッパーのロックが解除されているのでストッパーを手や指で押しながら障子を全開放します。
- ④窓を閉めた後は必ずサブロックを閉の状態に戻してください。



2. 操作ツマミ連動タイプ

- ①通常使用時はサブロックの操作ツマミを閉の状態にしてください。ストッパーが飛び出した状態でロックされます。
- ②非常時または窓を全開放にしたい場合は、サブロック操作部のフタを上スライドさせ、操作ツマミを開の状態にするとストッパーが框内に収納され、窓が全開放可能になります。
- ③窓を閉めた後は必ずサブロックを閉の状態に戻してください。

お願い

普段は、防犯上サブロック操作ツマミを“閉”にしてストッパーが戻らないようにして使用してください。サブロック操作ツマミを操作する時は、窓を閉めてクレセントをロックしてからおこなってください。窓の思わぬ開閉により指や手を挟み、思わぬ事故やけがにつながります。

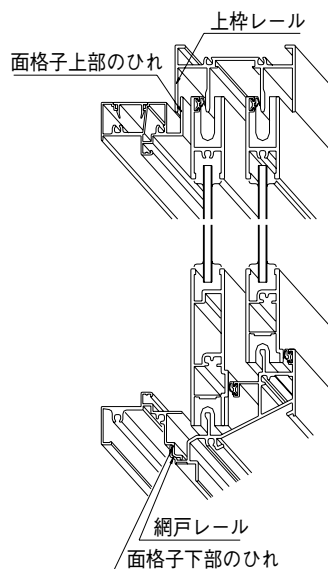
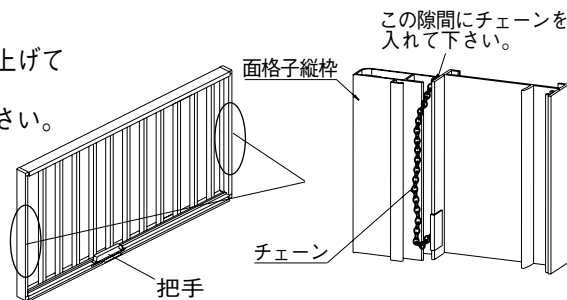
面格子の取り外し・取り付け（サッシにサブロック付きの場合）※非常脱出タイプ

1. 取り外し操作

- ①非常時、面格子を取り外す場合、サブロック操作部のフタを上げて操作ツマミを“開”にして外障子を全開にしてください。
- ②面格子の把手を両手で持って持ち上げ外部に取り外してください。
※縦枠と面格子をつなぐチェーンが取り付けられていますので取り外しの際には注意してください。

2. 取り付け操作

- ①面格子上部のひれを上枠レールにはめ込み、面格子を下げながらチェーンが、面格子とサッシ縦枠を外部に軽く押し、チェーンを内側に引っ張り、隙間に押し込んでください。（チェーンは両側にあります）

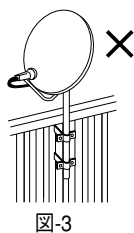


△ 注意

- ⊗ 人が乗ったり、ぶら下がったりしないでください。面格子が落下したりすると、事故やけがにつながります。
- ❗ 面格子を取り付け後、面格子はずれ止め金具を必ず固定してください。はずれ止め金具が掛かっていないと面格子が外れ、事故やけがにつながります。

お願い

面格子本体には穴をあけないでください。パラボラアンテナなど、他の器具を面格子に取り付けたりしないでください。（図-3）



面格子の取り外し・取り付け ※面格子固定タイプ

1. 取り外し操作

- ①面格子上部に取り付けられているはずれ止め金具（上部2箇所）のねじをドライバーでゆるめて固定板をずらしてください。（図-1・2）
- ②室外側から面格子を両手で持って、持ち上げ外部側に取り外してください。

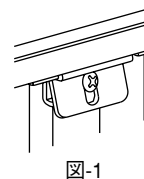


図-1

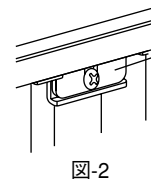
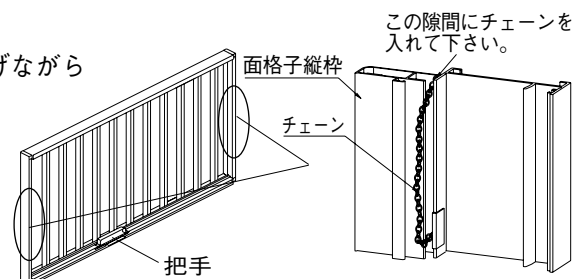


図-2

2. 取り付け操作

- ①面格子上部のひれを上枠レールにはめ込み、面格子を下げながら面格子下部のひれを網戸レールにはめ込んでください。
- ②面格子はずれ止め金具を図-2の状態にして固定ねじを締め付けてください。
- ③最後に面格子を持ち上げて面格子が外れないことを確認してください。



⚠ 注 意

- ⓪ 人が乗ったり、ぶら下がったりしないでください。面格子が落下したりすると、事故やけがにつながります。
- ❶ 面格子を取り付け後、面格子はずれ止め金具を必ず固定してください。はずれ止め金具が掛かっていないと面格子が外れ、事故やけがにつながります。

お 願 い

面格子本体には穴をあけないでください。パラボラアンテナなど、他の器具を面格子に取り付けたりしないでください。（図-3）

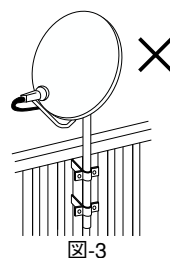
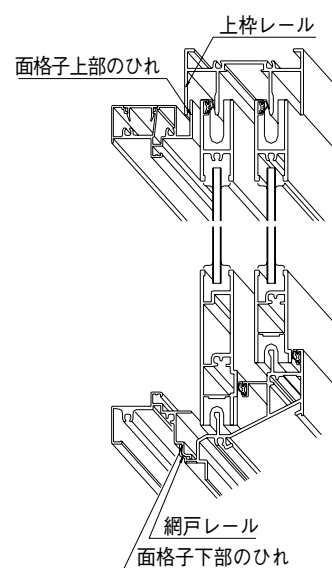


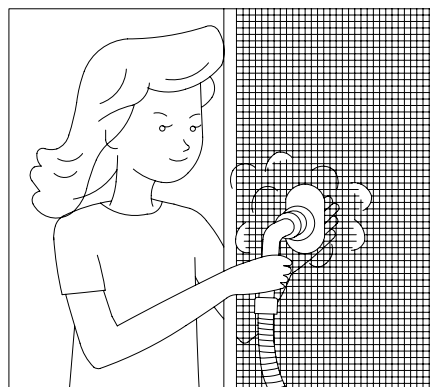
図-3



■ 面格子網戸の取扱い

防虫網のお手入れ

1. 網戸の両側から水を含ませた柔らかい布やスポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落してください。
2. 電気掃除機をお使いの場合は、ブラシのついた吸込み口を取付けて軽くこするようにしてお使いください。
3. 汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布や、スポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落としてください。
汚れが落ちたら水を含ませた布やスポンジなどでふきとってください。

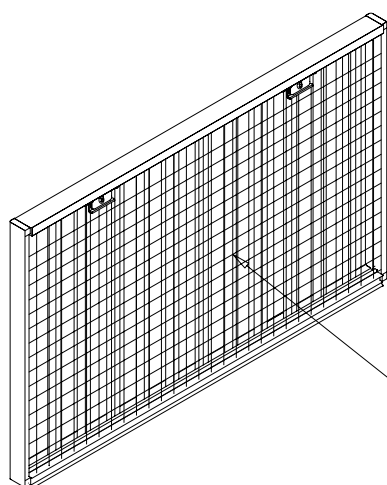


お願い

網の片側より強く押さえないでください。網がはずれたり、破れたりします。
網には火気を近づけないでください。
防虫網をメンテナンスし面格子を再取付した時は必ず固定金具をセットしてください。

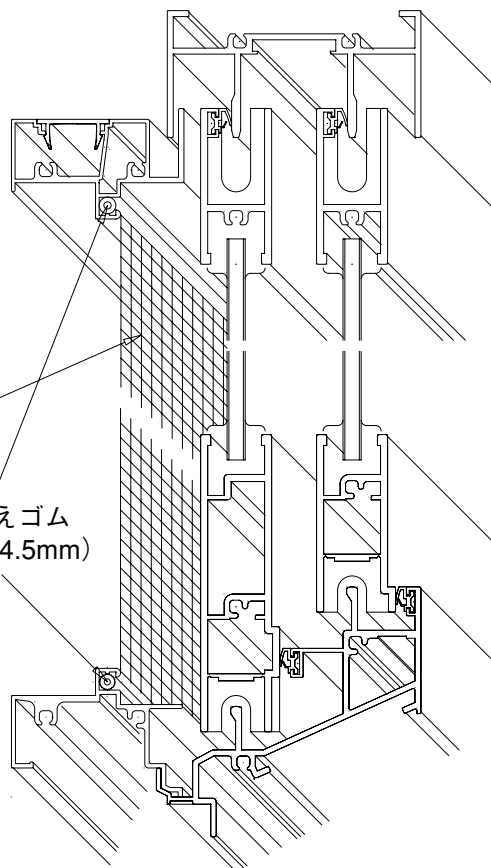
防虫網について

面格子用の防虫網は市販の引違い窓用の網を購入してお客様が交換することもできます。
お客様自身で張り替えをおこなう時は、取り外し面格子のページをご参照の上、説明書の記載内容にしたがい注意して面格子の取り外し、取り付け作業をおこなってください。
網の張り替え作業は一般の網戸と同様におこなってください。

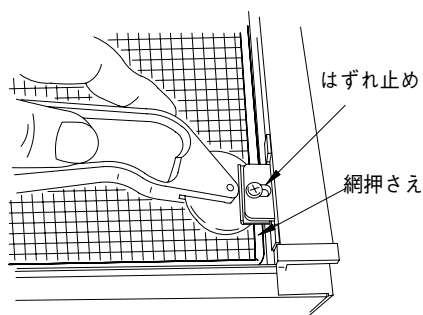


防虫網

網押さえゴム
(外径 $\phi 4.5\text{mm}$)

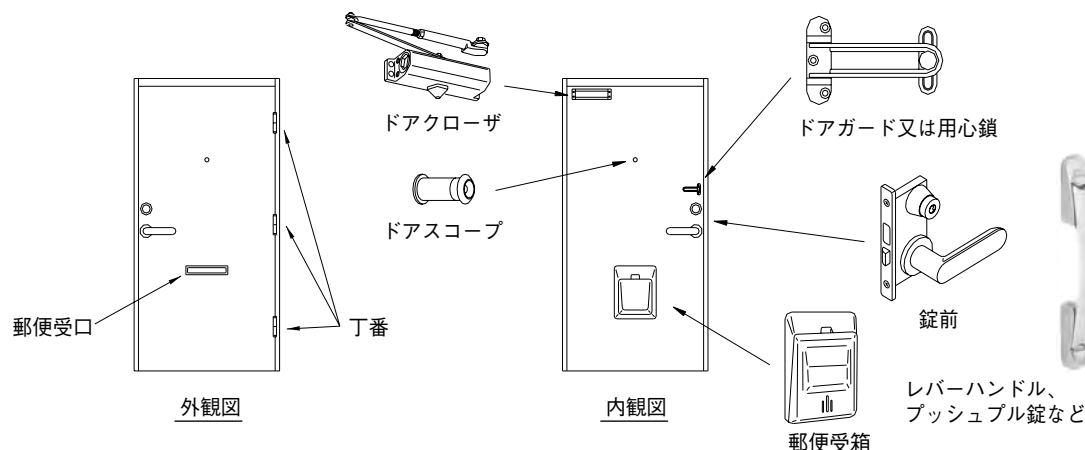


※網の交換は一般の網戸張り替えと同じようにおこないますが、格子のはずれ止め金具部は金具をはずすことができませんので、金具部の網押さえは下記のように工具で網押さえゴムを押しつけてください。



■ 玄関扉の取扱い

製品を正しくご使用いただくために、この取扱説明書を良くお読みください。



安全にご使用いただくために

ここに掲載したお願い・注意事項は、人身事故や財産上の損害を未然に防止するために、守っていただきたいことを示しています。

お 願 い

1. ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したりドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、扉が身体に当たり転倒したり、ドアと枠の間で指を挟み思わぬけがをするおそれがあります。(図-1)
2. ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指を挟んで大けがをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。(図-1)
3. 風の強い時はドアを閉めて、必ず鍵をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、けがやドアの破損につながる場合があります。
4. ドア付近でのお子さまの遊びやドア付近に身体の不自由な方や、お年寄りが立ち止まっていたりしないよう、保護者の方はご注意ください。
5. 下枠に段差がある場合、通行にご注意ください。つまづきによる転倒などの危険性があります。(図-2)
6. 扉にぶら下がったりしないで下さい。危険ですし、扉がゆがんだり、吊り下がりが生じ開閉に不具合を生じる可能性があります。
7. ドアの開閉時に下枠や床と扉の間に足を挟まれないようご注意ください。けがをする危険性があります。

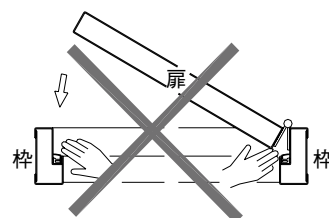


図-1

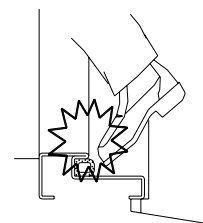


図-2

ご留意いただきたいこと

ご使用に当たっては、以下の点にご留意ください。

お 願 い

1. 出入口のドアを防火設備として使用する場合は、防火管理上いつも閉まった状態にしておく必要があります。ドアにくさび、ストッパー、ドアガードなどをかませて開放状態にしておきますと、火災発生時、延焼するなど被害の拡大につながるおそれがありますので、開放状態にしないでください。
2. 不用意にドア丁番側に、くさびなどをかませて開放状態にしますと、ドアの変形や開閉に支障をきたす場合がありますので、絶対にくさびなどをかませないでください。
3. 玄関ドアに使用される用心鎖やドアガードは、錠の代用として使用しないでください。用心鎖やドアガードは、来訪者の確認などのために使用する初期防犯用金物です。
4. 台風などの暴風雨時にはドアの性能を超えて、雨水が玄関や屋内に浸入することがあります。下枠部分に雑巾やタオルをあてておきますと、吹き込みを防止できます。
5. 新聞などの投入口がある場合、長期不在などで投入口に投函物をためると不在であることが第三者にわかる事となり、泥棒などの不法事件が発生する可能性があります。長期不在などの場合事前に新聞配達を止める等の対策をすることをおすすめいたします。
6. ドア付近には、美術品や工芸品を置かないでください。ドアの開閉による振動や突風による急開閉の衝撃で破損する危険性があります。
7. ドアに直接ホースなどで水をかけて清掃されますと、ドアや金具細部に水が溜まり腐食の原因となります。

ドアクローザ（自閉装置）

ドアクローザは開いた扉を自動的に閉める装置です。

1. ドアクローザはストップ付きとストップ無しの2種類の商品があります。
（ストップ付きは、扉を90°開いた状態で扉の作動を停止する機能を有しています）
2. 同室内で他の開口部（窓、玄関扉など）が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなることがあります。

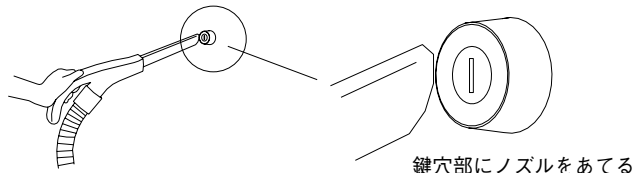
※ドアクローザの■使用上のお願い、■速度調整のしかた、については別頁「ドアクローザの取扱い」をご覧ください。

錠 前

鍵が回りにくくなった場合の簡単なメンテナンス方法を記載します。
注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

■掃除機による方法

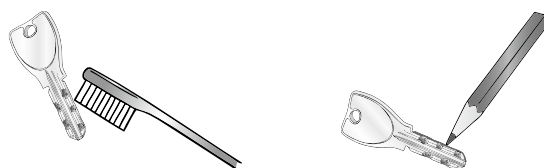
- ①掃除機を鍵穴に当ててほこりを吸い取ってください。



鍵穴部にノズルをあてる

■鍵のお手入れ

- ①鍵は定期的に古くなった歯ブラシなどで表面のホコリをはらってください。
鍵のくぼみなどにたまったほこりなどが
鍵の抜き差しを悪くする原因となることがあります。



古い歯ブラシなどで表面の
ホコリをはらう

鉛筆でくぼみなどをなぞる

■鉛筆による方法

鍵の抜き差しがスムーズでない場合には次の
方法で調整をおこなってください。

- ①鍵の切り込み部分をやみぞを鉛筆で強めに
なぞり黒く塗りつぶします。
- ②数回鍵穴に抜き差ししてください。
- ③終了後、鍵についた黒鉛をふきとってください。
黒鉛が付着したまま使用されますと衣服などを
汚す場合があります。

お 願 い

1. 鍵および鍵穴には、油をささないでください。
故障につながる可能性があります。
2. 施錠した時は、念のためにハンドルを動かして
施錠状態を確認してください。

オプション部品

下記の部品が取り付けられている場合は、以下の点にご留意ください。

■化粧モール付き扉

1. 扉および化粧モールのコーナー部に身体を当てたり、洋服を
ひっかけないようご注意ください。

■ドアスコープ

1. 訪問者をレンズにて内部より確認する防犯用のものです。
ドアスコープ全体がねじになっています。ゆるみのある時は
室内側より10円玉などで増し締めしてください。

■ガラス組込型 ドア

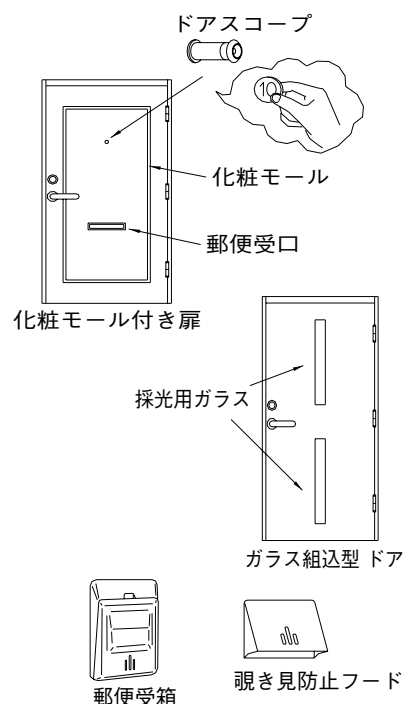
1. ドアのガラス部に物を当てたり、強い衝撃を受けると、破損
することがありますので、けがなどにご注意ください。

■郵便受口・受箱

1. 郵便受口、受箱で子供が遊ばない様にしてください。思わぬけが
をしたり、部品が破損したりします。
2. 郵便受箱が、ドア面より飛び出て取り付けられていますので身体に当たら
ない様に、また洋服などをひっかけない様にご注意ください。
3. 郵便受箱のフタは使用後は必ず閉めてください。扉の開閉時に
身体に当たりけがをすることがあります。
4. 受口の高さは、3.7cmです。これより厚いものを無理に入れますと
郵便物が破れたり取り出しにくくなる場合があります。

■視き見防止フード

1. ドア面より飛び出て取り付けられていますので身体に当たらない
ように、また洋服などを引っ掛けないようにご注意ください。



メンテナンス

長期間ご使用になりますと、丁番のねじのゆるみ、ドアのがたつきなどの不具合が発生することがあります。そのまましておきますと、人身事故や家財の損害などの原因になります。ドアの使用にあたり異常を感じた場合、次のように対処してください。

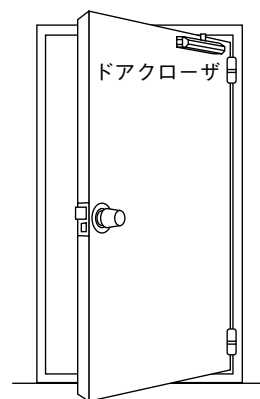
不具合状況	対 処
ドアの開閉速度が変化するなど動きがおかしくなった。	ドアクローザの不調が考えられます。調整によって直ることもあります。詳細はドアクローザの取扱説明書をよくお読みの上、調整してください。 ※ドアクローザの取扱説明書がない場合、弊社までご連絡ください。 ※B L マーク貼付商品のドアクローザについては、B L 認定の基準として「特殊な工具以外では閉じ速度を調整できない構造とする」となっておりますので、建物管理責任者に依頼してください
ドアががたついたり、開閉時に枠にあたる。	丁番を止めているねじがゆるんでいることが考えられます。 このとき、ドアの下に木片をあてがってドアを水平に保持してねじを締め直してください。

玄関ドアの清掃についてはアルミサッシと同様に定期的な清掃をお願いします。(P2参照)

■ ドアクローザの取扱い

ドアクローザは開いた扉を自動的に閉める装置です。閉める速度は油圧で調整しますが、ドアの開き角度90° から閉まるまでの適正スピードは5～8秒です。お引渡し前に調整してありますが、必ずご使用前にこの説明書をお読みになり正しくお使いください。

1. ドアクローザはストップ付きとストップ無しの2種類の商品があります。ストップ付きは、扉を90° 開いた状態で扉の作動を停止する機能を有しています。
2. 同室内で他の開口部（窓、玄関扉など）が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなることがあります。



お願い

ドアの開閉時には、ドアと枠の間に手などを置かないでください。
強い風などでドアが急激に閉まり、手・指が挟まれることがあります。

ドアの閉まる速度は、気温によって変わります。
気温が高くなると早くなりますので、説明書に従って適正速度に調整してください。

ドアクローザ本体内部から油がにじみ出たり、部品が破損した場合は、下記メーカーにご相談ください。
放置しておくと事故につながります。

ドアクローザを分解・改造しないでください。
故障の原因になります。

ドアクローザの取付ビスや連結部分に、緩みが生じた時には締め直してください。

ドアが歪んだり、片下がりしてスムーズに動かなくなった場合は、ドアメーカーまたはビルの管理事務所にご相談ください。

ドアクローザの保証期間は、1年間です。

ニュースター製品メーカー連絡先

日本ドアーチェック製造株式会社

東京本社／〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号
〈ニュースター東京ビル〉 TEL(03)3871-1411(代) FAX(03)3875-6823

大阪本社／〒544-0014 大阪市生野区巽東三丁目17番10号
TEL(06)6758-1251(代) FAX(06)6758-0728

札幌支店	〒062-0020	札幌市豊平区月寒中央通り一丁目1番12号	TEL(011)851-8255～6	FAX(011)851-8256
北陸支店	〒921-8021	金沢市御影町22番23号	TEL(076)243-2120(代)	FAX(076)243-2148
名古屋支店	〒462-0041	名古屋市北区波打二丁目町80番地の2	TEL(052)981-7531～2	FAX(052)981-7533
福岡支店	〒812-0034	福岡市博多区下呉服町5番15号	TEL(092)271-5491(代)	FAX(092)272-1923
仙台営業所	〒983-0044	仙台市宮城野区宮千代三丁目8番1号	TEL(022)284-7501	FAX(022)284-6403
静岡営業所	〒422-8034	静岡市駿河区高松一丁目24番17号	TEL(054)238-2751	FAX(054)238-2752
広島営業所	〒731-0103	広島市安佐南区緑井六丁目9番11号	TEL(082)877-1611～2	FAX(082)877-1612
高松営業所	〒761-0104	高松市高松町2077番地1	TEL(082)877-1611～2	FAX(082)877-1612

速度調整のしかた

- ◆適正速度
開き角度90° から閉まるまでの適正速度は『5～8秒』です。

- ◆速度調整方法
速度調整バルブを回してください。

1：第一速度調整バルブ 2：第二速度調整バルブ

早くなる  遅くなる 早くなる  遅くなる

※早くする場合（左回り）は1回転以上回さないでください。

※速度調整バルブは機種により次の3種類があります。



マイナス溝形

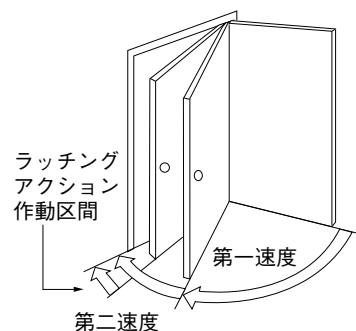


プラス溝形



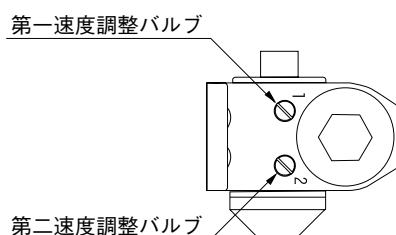
六角溝形

調整範囲

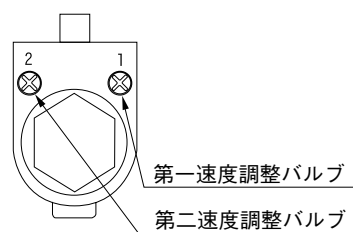


調整バルブの位置

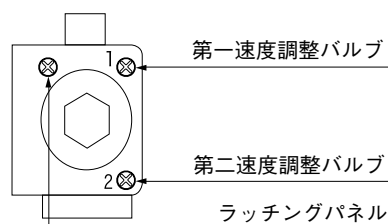
■80シリーズ



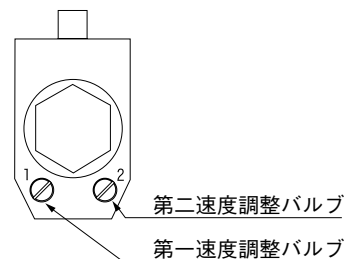
■3000シリーズ



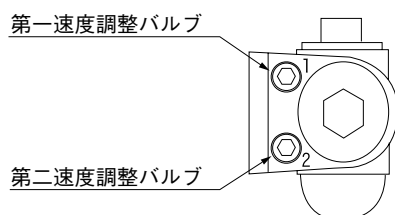
■7000シリーズ



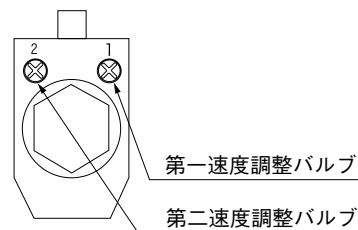
■6000シリーズ



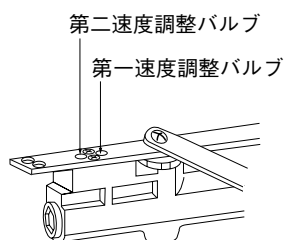
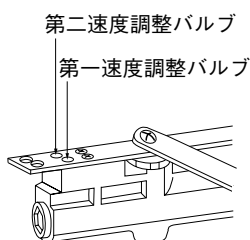
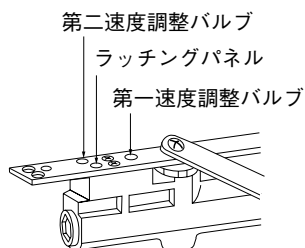
■BL-70シリーズ



■5000シリーズ



■60Nシリーズ



Handwriting practice lines consisting of 25 horizontal dotted lines.

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.

Handwriting practice lines consisting of 24 horizontal dotted lines.



不二サッシ株式会社 お客様相談窓口 0120-54-2234

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ

営業企画部	〒141-0031	東京都品川区西五反田4-32-1	☎03-5745-1218
中低層・フロント事業部	〒141-0031	東京都品川区西五反田4-32-1	☎03-5745-1233
施工管理部	〒141-0031	東京都品川区西五反田4-32-1	☎03-5745-1227

関東支店	〒330-0074	埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-5-5(北浦和大栄ビル)	☎048-829-2751
東京支店	〒141-0032	東京都品川区西五反田4-32-1	☎03-5745-1250
横浜支店	〒220-8116	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1-1(横浜ランドマークタワー)	☎045-210-9080
名古屋支店	〒461-0001	愛知県名古屋市東区泉1-9-22(名古屋BXビル)	☎052-959-5700
大阪支店	〒556-0017	大阪府大阪市浪速区湊町1-4-38(近鉄新難波ビル)	☎06-6635-4134
中四国支店	〒733-0011	広島県広島市西区横川町3-12-18(横川駅前ビル)	☎082-536-2250
北海道不二サッシ(株)	〒060-0061	北海道札幌市中央区南一条西12-4-89(不二サッシビル)	☎011-261-8284
不二サッシ東北(株)	〒980-0021	宮城県仙台市青葉区中央2-9-27(プライムスクエア広瀬通)	☎022-222-4134
日海不二サッシ(株)	〒920-0352	石川県金沢市観音堂町へー51	☎076-267-9200
(株)不二サッシ九州	〒812-0039	福岡県福岡市博多区冷泉町2-1(博多祇園M-SQUARE)	☎092-291-1134

ホームページ <http://www.fujisash.co.jp/>

2017年2月現在

お問い合わせは